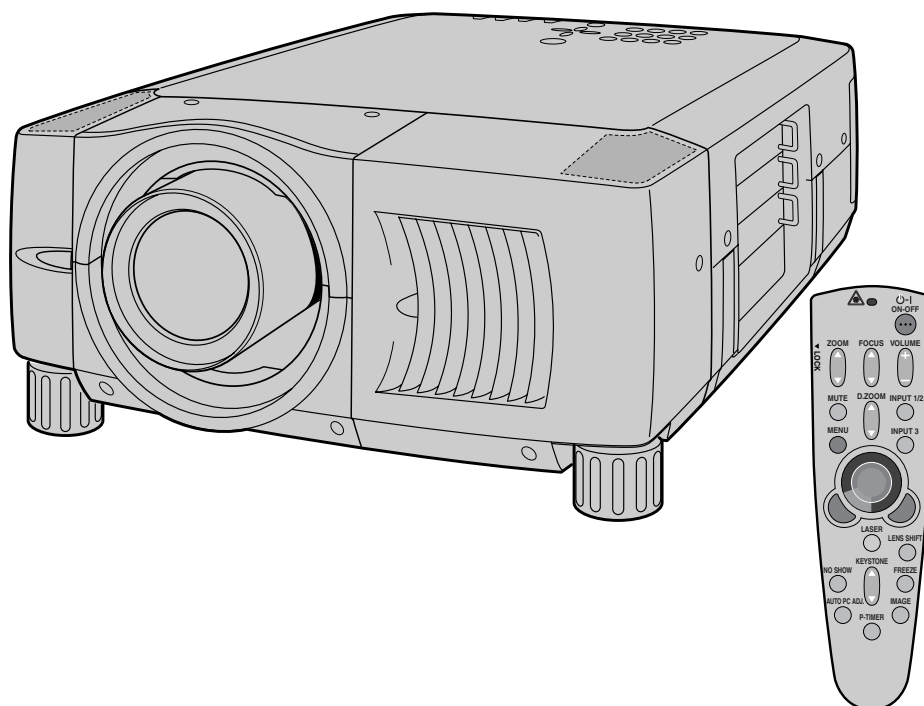


EIKI

液晶コンピュータ・ビデオプロジェクタ

LC-X5DL型 取扱説明書

LC-X5DLにはレンズは付いておりません。
別売のレンズをご使用ください。



このたびはEIKI液晶コンピュータ・ビデオプロジェクタをお買い上げいただきありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。とくに4～9ページの「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書といっしょに、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。わからないことがあったときなどにお役に立ちます。

映機工業株式会社

コンピュータ対応液晶プロジェクタ LC-X5DL の特長

1024 x 768ドットの高解像度液晶パネルの採用により、XGAコンピュータにリアル対応。
SXGA、UXGAにも圧縮対応。

遠隔操作でスマートなプレゼンテーションを可能にする
ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコンを付属

DVI-I (デジタル インターフェイス) 搭載

デジタル ビジュアル インターフェイス (DVI) の採用により、コンピュータの画像をより鮮明に再生します。

プログレッシブ スキャン

プログレッシブ スキャン の採用により、ビデオ映像やHDTV信号をより高画質に投射します。

マルチ プラットフォーム

豊富な入出力端子およびカードスロット式接続端子の採用により、ハードおよびソフト環境の異なる各種コンピュータおよびビデオ機器に幅広く対応できるマルチプラットフォーム設計になっております。

カード スロット式接続端子

接続端子の入れ替え可能なカードスロット式接続端子により、端子カードの入れ替えで外部機器またはシステム組込みに合わせてプロジェクタを使用することができます。

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能

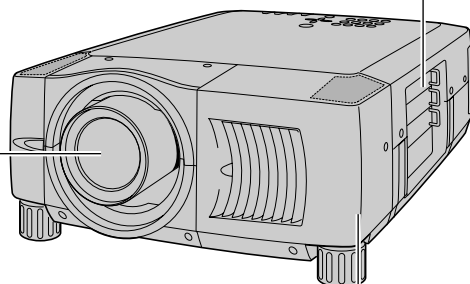
- ◆ 天吊り、据置、リア投射など、さまざまな設置方法に対応。
- ◆ ボタン操作でレンズを上下にスライドさせ、画面の位置決めを容易にする電動レンズシフト機能。
- ◆ コンピュータの種類の判別と最適設定を自動で行なうマルチスキャン システムとオートPCアジャスト機能。
- ◆ 見たい部分を瞬時に拡大投影できるデジタルズーム機能。(コンピュータ モード時)
- ◆ 投影画面の台形歪みをスクエアな画面に補正するデジタルキーストーン (台形補正) 機能。
- ◆ 音声を一時的に消す MUTE・画面を一時的に静止させる FREEZE・画面を一時的に消す NO SHOW 機能。
- ◆ プレゼンテーション時に便利な P-TIMER (プレゼンテーションタイマー) 機能。
- ◆ ステレオ出力のアンプ・スピーカ内蔵で音響施設のない出先などでもプレゼンテーションが可能。
- ◆ 海外の映像システムにも対応する6カラーシステム。
- ◆ DVD プレーヤーや HDTV などからのコンポーネント映像出力にも対応。
- ◆ 2 ランプ システムにより、ランプ寿命の改善。

ネットワーク ボード (別売) に対応

ネットワーク ボードを装着することにより、プロジェクタをネットワーク経由で操作・管理することが可能。

満足の明るさと高精細大画面

- 約236万画素の高精細画像で XGAコンピュータ画像をリアル投影
- 250W高輝度 UHPランプを2灯使用し、高輝度化を実現
- 40~600インチの大画面



設置調整を容易にする機構設計

- 画像位置の調整を容易にする上下電動レンズシフト機能を搭載
- 持ち運びに便利なキャリングハンドルと傾き調整を容易にする調整脚を装備
- 小型・軽量 21Kg (レンズ含まず)

入れ替え可能なカードスロット式 コンピュータ・ビデオ入力端子

- 3種のカードスロット [DVI、BNC x 5ピン (R/Pr, G/Y, B/Pb)、BNC x 2ピン (VIDEO/Y, C)、S-VIDEO] を標準装備
- コントロールポート、ワイヤード リモコン端子、シリアル入出力ポート、音声出力端子、USB ポートも装備



ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコン

- プロジェクタおよびプロジェクタに接続したコンピュータの遠隔操作が可能
- プレゼンテーション時に便利なレーザポイントと P-TIMER (プレゼンテーション タイマー) 機能付き
- プロジェクタとリモコンを付属のコードでつなげば、ワイヤードリモコンに変身

目 次

安全上のご注意 4

準 備 10

- 付属品を確認してください・・・10
- 本体各部のなまえ・・・11
- 設置のしかた・・・12
- リモコンの準備・・・14
- 電源コードを接続する・・・15

操作の前に 16

- リモコンのボタン・・・16
- 本体操作パネルのボタン・・・17
- ランプマネージメントについて・・・18
- オンスクリーンメニューの操作方法・・・20

基本操作 22

- 電源を入れ画面を投影する・・・22
- 音量や音質を調整する・一時的に消音する・・・24
- 画面を一時的に静止させる・・・25
- 画面を一時的に消す・・・25
- プレゼン時に経過時間を表示する・・・25
- レーザーポインタを使用する・・・26
- 電源を切る・・・27

コンピュータ入力 28

- コンピュータ入力に切り換える・・・28
- コンピュータシステムの選択・・・28
- コンピュータシステムの調整・・・29
- コンピュータシステムモード一覧・・・32
- イメージの調整・・・34
- 適切な画像サイズに調整する・・・37

ビデオ入力 38

- ビデオ入力に切り換える・・・38
- カラーシステムや走査方式を選択する・・・38
- イメージの調整・・・39
- 画面のサイズを選択する・・・41

設 定 42

- セッティングメニューの設定・・・42

接 続 45

- 機器をつなぐ端子・・・45
- コンピュータを接続する・・・46
- ビデオ機器を接続する・・・47

付 録 48

- リモコンでコンピュータを操作する・・・48
- カードスロット式接続端子の交換・・・49
- 光源ランプの交換・・・50
- エアフィルターの掃除・・・52
- 内部の温度上昇について・・・53
- インジケータ表示とプロジェクタの状態・・・54
- 故障かなと思ったら・・・55
- 仕様・・・56
- 端子の仕様・・・58
- 保証とアフターサービス・・・59

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例



感電注意

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
(左の絵表示は感電注意を意味します。)



分解禁止

⊘の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⊘の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左の絵表示は分解禁止を意味します。)



電源プラグを
コンセントから抜け

●の記号は、しなければならない行為を示しています。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
(左の絵表示は電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。)



警告

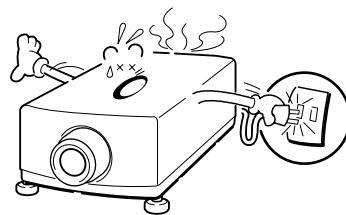
- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



警告



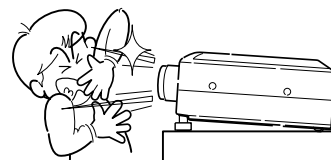
電源プラグを
コンセントから抜け



- 使用中はレンズをのぞかないでください。強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。



警告



- リモコンのレーザポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。

LASER RADIATION
DO NOT STARE INTO BEAM
CLASS 2 LASER PRODUCT
LASER-STRAHLUNG
NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN
LASER KLASSE 2
レーザ放射 クラス2 レーザ製品
ビームをのぞき込まないこと
IEC60825-1, Am.1 1997
MAX OUTPUT (最大出力) : 1mW
WAVE LENGTH (波長) : 650/20nm



警告



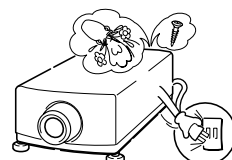
- 万一本機の内部に水などが入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



- 万一異物が本機の内部に入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け

- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて修理を販売店にご依頼ください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け

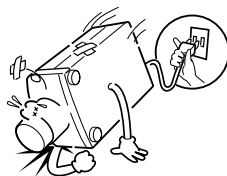
- 万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



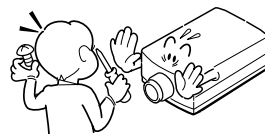
- 本機のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止



感電注意



- 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止



水ぬれ禁止



警告

- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

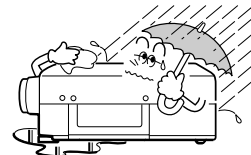


風呂、シャワー室での使用禁止

- 本機に水が入ったり、濡らしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



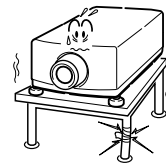
水ぬれ禁止



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



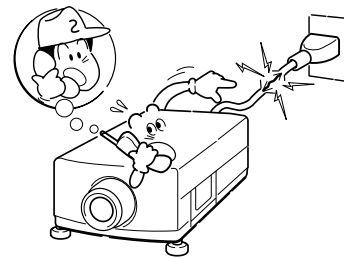
禁止



- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- 電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。



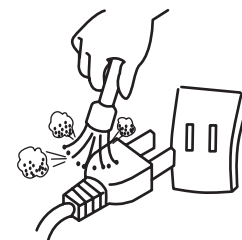
禁止



- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。（結露するところや水槽の近くに特にご注意ください）



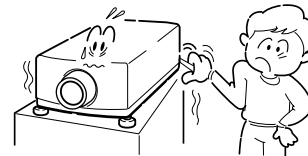
電源プラグを抜いて清掃



- ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。



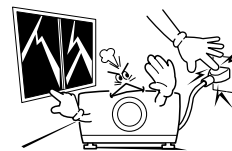
禁止



- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止



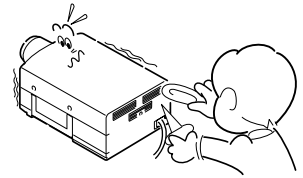


警告

- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。
- 本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。火災・けがの原因となります。



禁止



- 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

- 本機は接地端子の付いた 3ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を接地してください。(詳しくは、15ページをご覧ください。)



アース線を接続する

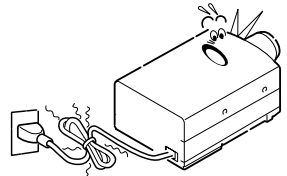


注意

- 電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。



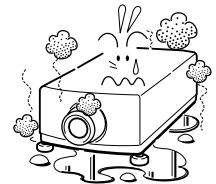
禁止



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



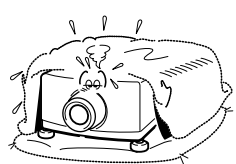
禁止



- 内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。ご使用の時は、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
設置のときは、壁などをファンの排気口から 1メートル以上空けてください。



禁止



次のような使い方はしないでください。

* 横倒しなど、指定以外の方向に、設置しないでください。

* 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。

* じゅうたんや布団の上に置く。

* テーブルクロスなどを掛ける。

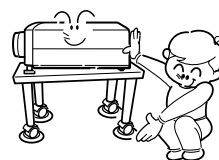
また、壁など、周囲のものから 1メートル以上はなし、風通しをよくしてください。

注意

- キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、けがの原因となる場合があります。



注 意



- 本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となる場合があります。



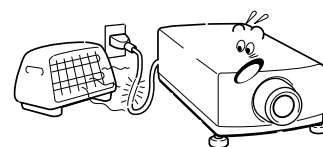
禁 止



- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となる場合があります。



禁 止



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁 止



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となる場合があります。



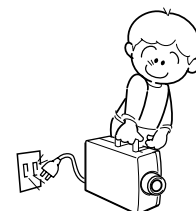
ぬれ手禁止



- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。



電源プラグを
コンセントから抜け



- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となる場合があります。



電源プラグを
コンセントから抜け



- 長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となる場合があります。



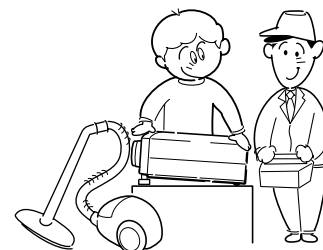
電源プラグを
コンセントから抜け



- 長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となる場合があります。掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。



注 意



正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクタは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。持ち運ぶとき、レンズの保護のためにレンズキャップをはめ、専用のケースに納めて運んでください。車両・航空機などを利用して持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。

輸送の時はレンズを取り外してください

別売レンズを取り付けたプロジェクタを輸送するときは、必ずレンズを取り外し、プロジェクタのレンズ取付け穴部へカバープレートを取り付けて輸送してください。レンズを取り付けたままで輸送すると、レンズ本体の重みでプロジェクタを破損する原因となります。取り付け、取り外しの詳しくは、別冊の「レンズ交換・取付作業手順」をご覧ください。

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき ●

別売レンズ取り付け後は、レンズや本体にホコリが付着しないよう、レンズキャップをはめ、ダストカバーをかぶせて保管してください。

● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために ●

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

● ベンジン・シンナーは使わないで ●

ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● レンズのお手入れ ●

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブロワーブラシやレンズクリーナー（カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー）で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。

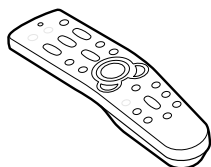
● エアフィルターのお手入れ ●

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターはこまめに掃除してください。（掃除のしかたは 52ページを参照）

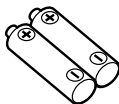
付属品を確認してください

プロジェクタ本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

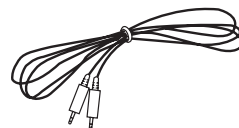
1 リモコン



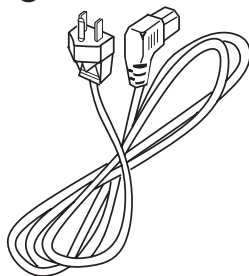
2 リモコン用アルカリ乾電池
(単三型2本)



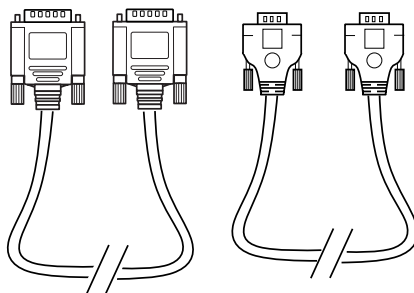
3 リモコン接続コード



4 電源コード



5 コンピュータ接続ケーブル 2本
DVI 用 DOS / V 用



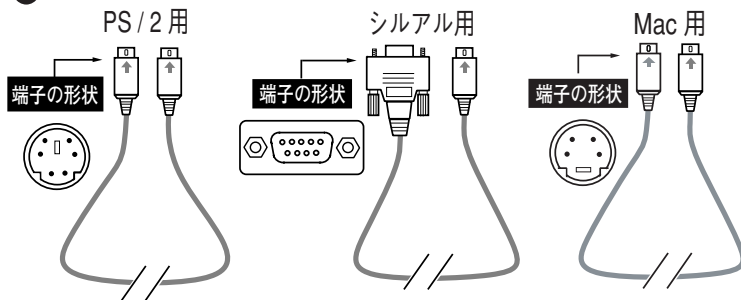
6 DVI / D-sub 15ピン
変換アダプタ



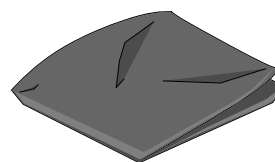
7 Mac 変換アダプタ



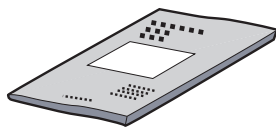
8 マウスコントロールケーブル 3本



9 ダストカバー



10 取扱説明書 (本書)



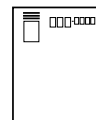
11 レンズ交換・
取付作業手順書



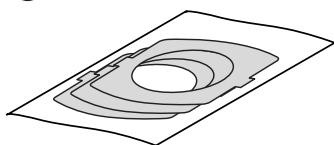
12 保証書



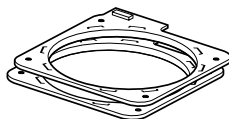
13 保証登録書
(はがき)



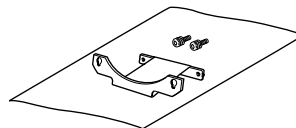
14 遮光プレート (3種)*



15 レンズ取付金具 2個*

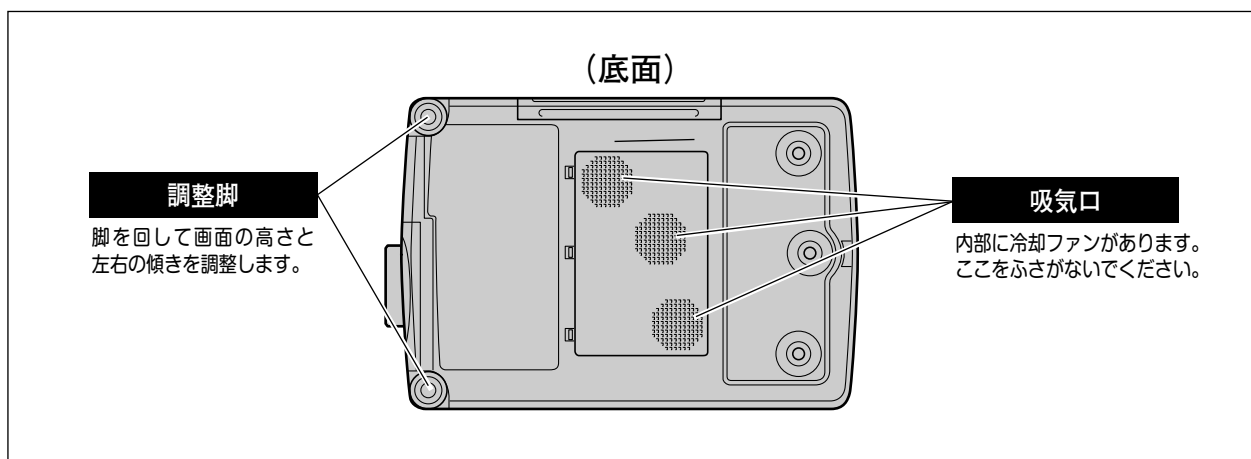
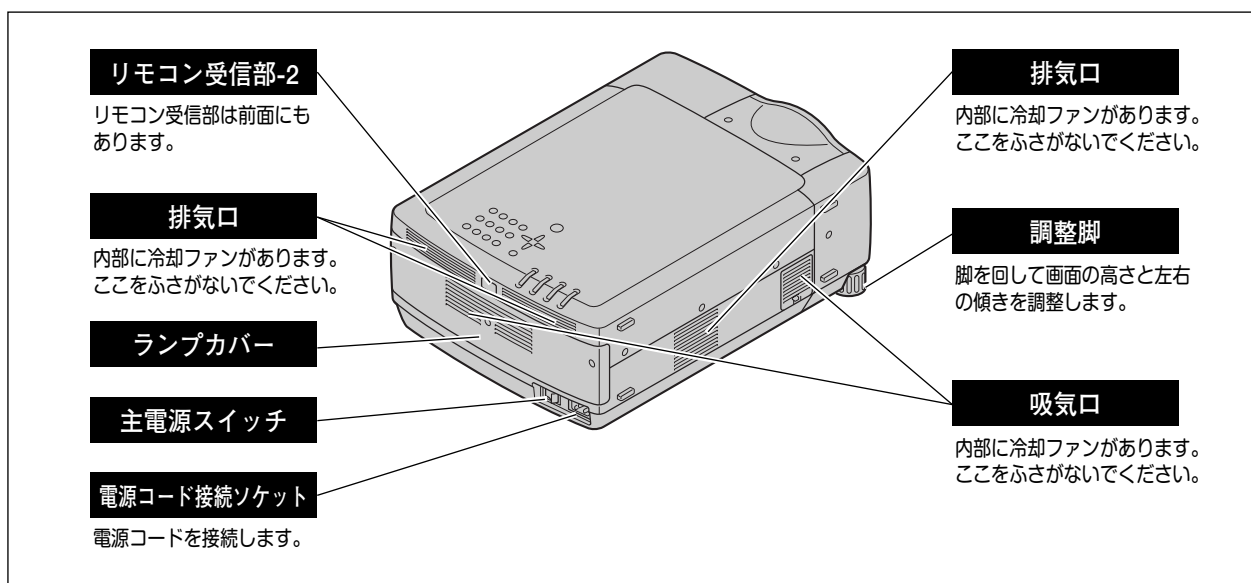
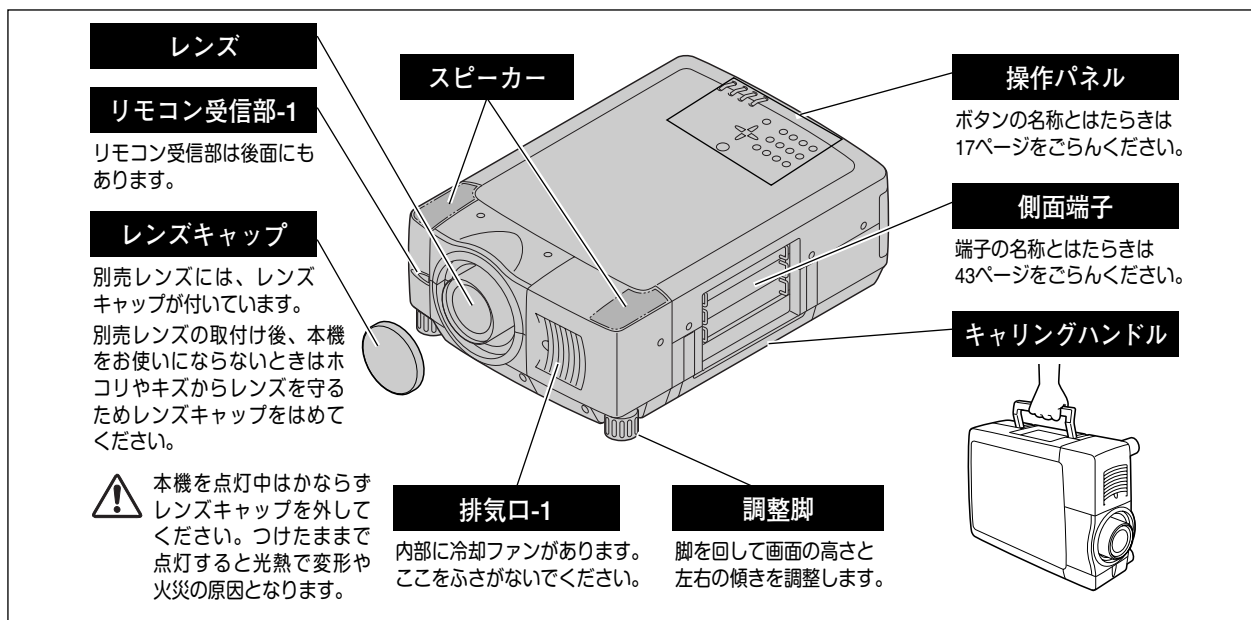


16 遮光プレート *
取付ベースキット



*...別売レンズ用

本体各部のなまえ



設置のしかた

レンズを取り付ける

プロジェクタを据え付ける前に、プロジェクタ本体にレンズを取り付けます。

はじめにプロジェクタを使用する環境に合ったレンズを決めます。本機に適合するレンズ品番およびレンズの仕様は、別冊の説明書をごらんください。(別冊に記載されている各レンズの仕様は、目安とするもので実際のものとは異なる場合があります。レンズの仕様について、詳しくは取扱販売店にご相談ください。)

各レンズの取り付けは、別冊の「レンズ交換・取付作業手順書」に従って行なってください。レンズの品番によって取り付け手順、取り付け部品が異なります。必ず手順書に従い、レンズの品番に合った取付けを行なってください。

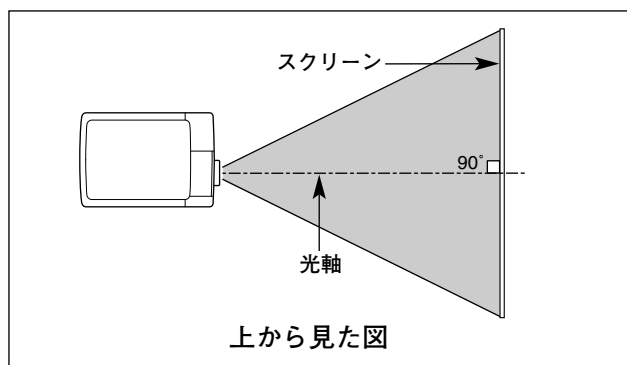


注 意

レンズ取り付け後、プロジェクタを設置するとき、レンズには必ずレンズ保護カバーをしてください。また、プロジェクタ本体を運んだり持ち上げたりするとき、レンズ部は絶対持たないでください。プロジェクタを破損する原因になります。

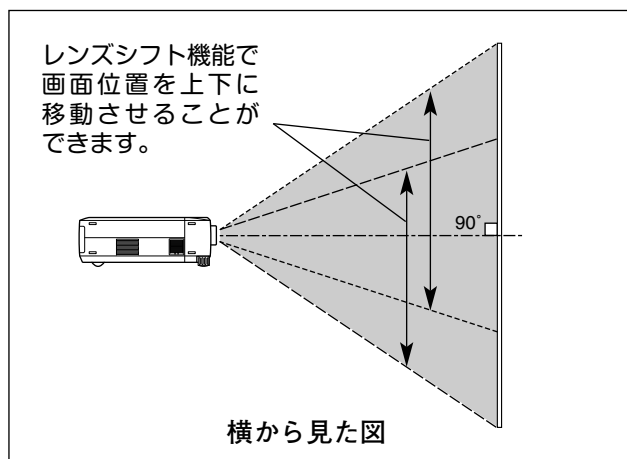
スクリーンに対して直角に設置する

投影したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。



レンズシフト機能で画面の上下位置を合わせる

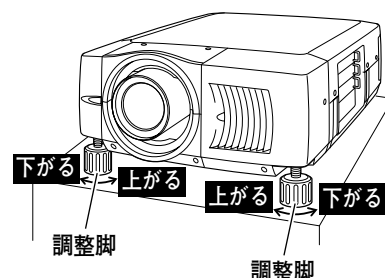
本機にはレンズシフト機能が付いており、ボタン操作でレンズを上下にスライドさせ、画面位置を上下に移動させることができます。操作のしかたについては、23ページををごらんください。



投影画面の傾きを調整する

本体前方の2つの調整脚をまわして投影画面の傾きを微調整します。
最大約6.9度まで上がります。

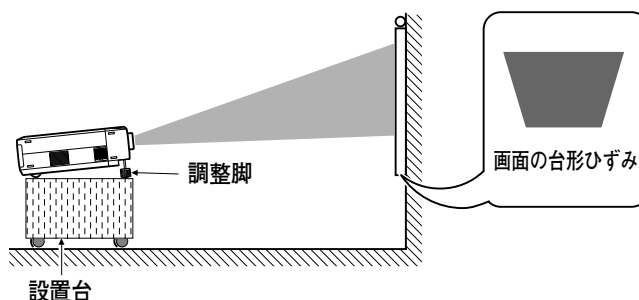
※ 画面の上下位置は、主にレンズシフト機能で調整します。(23ページ参照)



● 画面の台形ひずみ (あおり) ●

調整脚を上げすぎると、投影角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、本体の設置台の高さなどを調整してください。

※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。(23ページ参照)



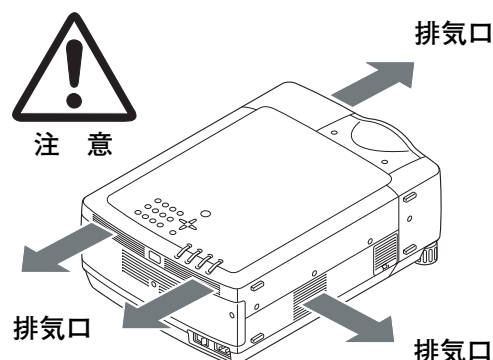
※ 画面のひずみが大きいときは、設置台を高くして調整してください。

設置するときは次のことに注意してください

● 排気口の温風にご注意ください ●

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

- ・ スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- ・ 金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
- ・ 観葉植物やペットを置かないでください。
- ・ 熱で変型したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
- ・ 排気口付近には視聴席を設けないでください。



● こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

● 使用温度範囲 ● 5℃～35℃

● 保管温度範囲 ● -10℃～60℃

● スクリーンと部屋の明るさ ●

スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋ではカーテンを引くなどしてスクリーン周辺を暗くしてください。

● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

リモコンの準備

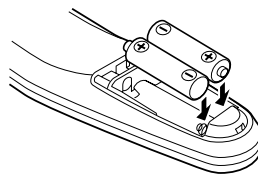
電池の入れかた

1 電池カバーを開けます。



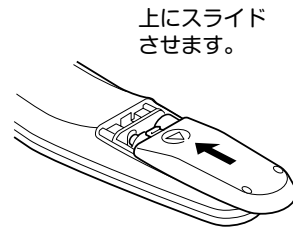
2 電池を入れます。

付属の乾電池を＋プラス、
－マイナスに注意して入れます。



使用乾電池
単3型アルカリ乾電池2本

3 電池カバーを閉めます。



● 電池を使用するときのご注意 ●

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんで注意ください。

- ・種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
- ・乾電池は充電しない。分解しない。
- ・＋極と－極の向きを正しく入れる。＋極と－極をショートさせない。
- ・可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- ・電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。

また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

- ・長い間使わないときは乾電池をとりだす。
- ・液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。

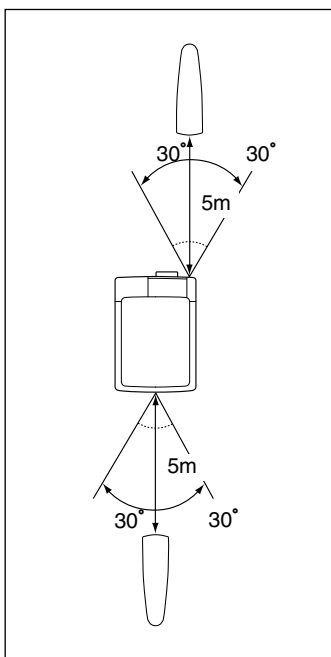


注 意



禁 止

リモコンで操作できる範囲



ワイヤレスリモコンとして使用する場合、リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面と後面のリモコン受信部から約 5m 以内、左右 30° 以内です。

※間に障害物があると操作の妨げになります。

● リモコンを使用するときのご注意 ●

- ・本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにする。
- ・液状のものをかけない。
- ・落としたり衝撃を与えない。
- ・熱や湿気をさける。



警 告

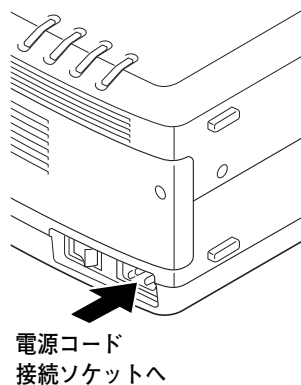
リモコンのレーザポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。

LASER RADIATION
DO NOT STARE INTO BEAM
CLASS 2 LASER PRODUCT
LASER-STRAHLUNG
NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN
LASER KLASSE 2
レーザ放射 クラス2 レーザ製品
ビームをのぞき込まないこと
IEC60825-1, Am.1 1997
MAX OUTPUT (最大出力) : 1mW
WAVE LENGTH (波長) : 650±20nm

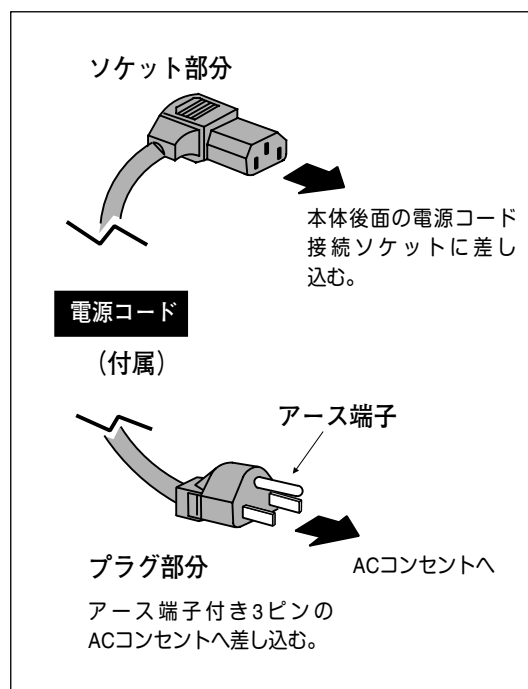
電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、45～47ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードのソケット部分を本体後面の電源コード接続ソケットに差し込みます。



- 2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3ピンの ACコンセントに差し込みます。



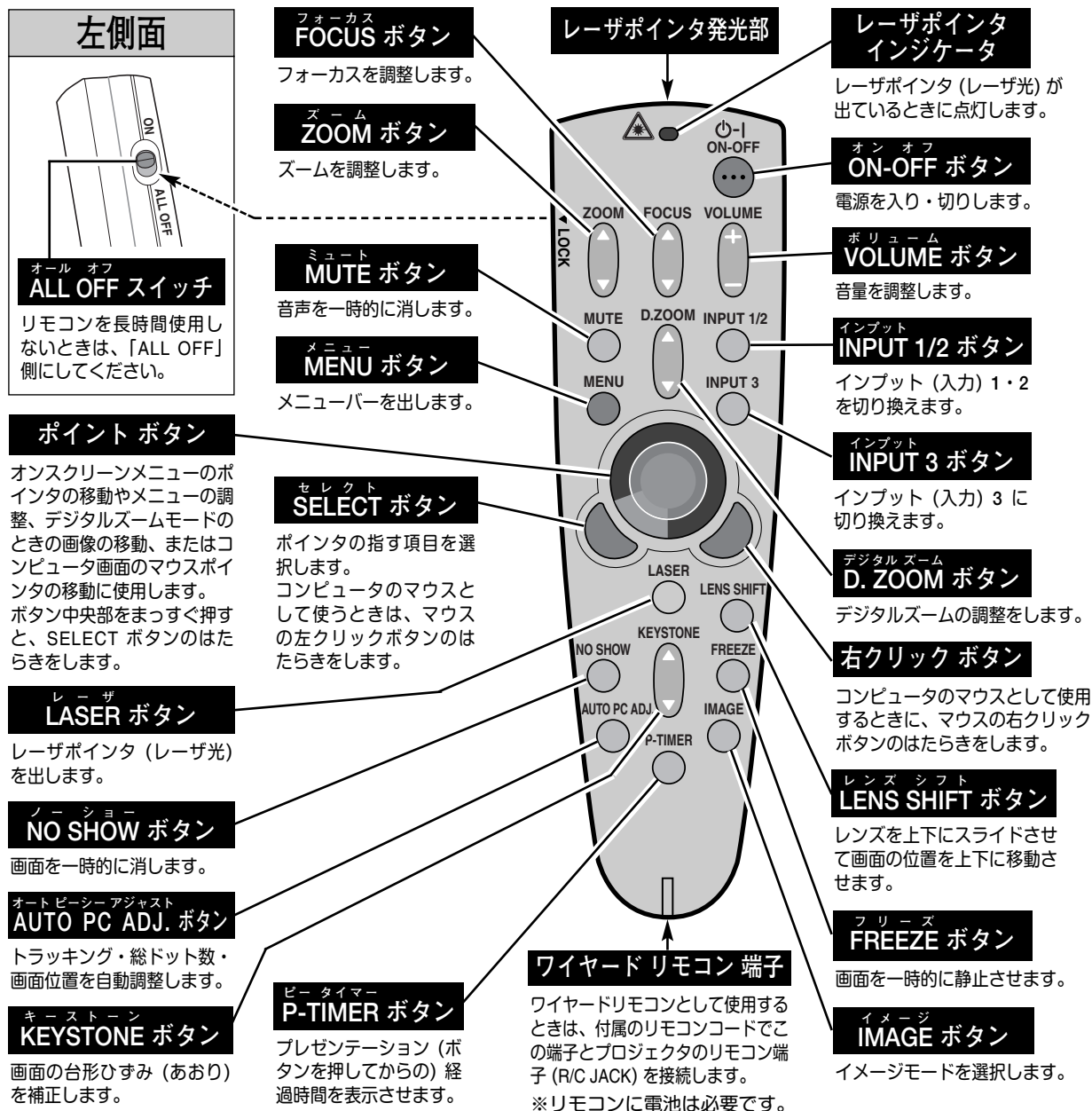
● アース端子を接地してください ●

機器を安全にご使用いただくために、電源プラグのアース端子の接地を行なってください。また、アース端子の接地はコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因となることがあります。

操作の前に

リモコンのボタン

プロジェクタの操作はリモコンで行なうと便利です。また、付属のマウスコントロールケーブルでコンピュータとプロジェクタを接続するとコンピュータのワイヤレスマウスとしてご使用いただけます。



● リモコンの持ち方 ●

リモコンは図のように持つと便利に操作できます。



警告

リモコンのレーザーポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お様に使わせたりしないでください。

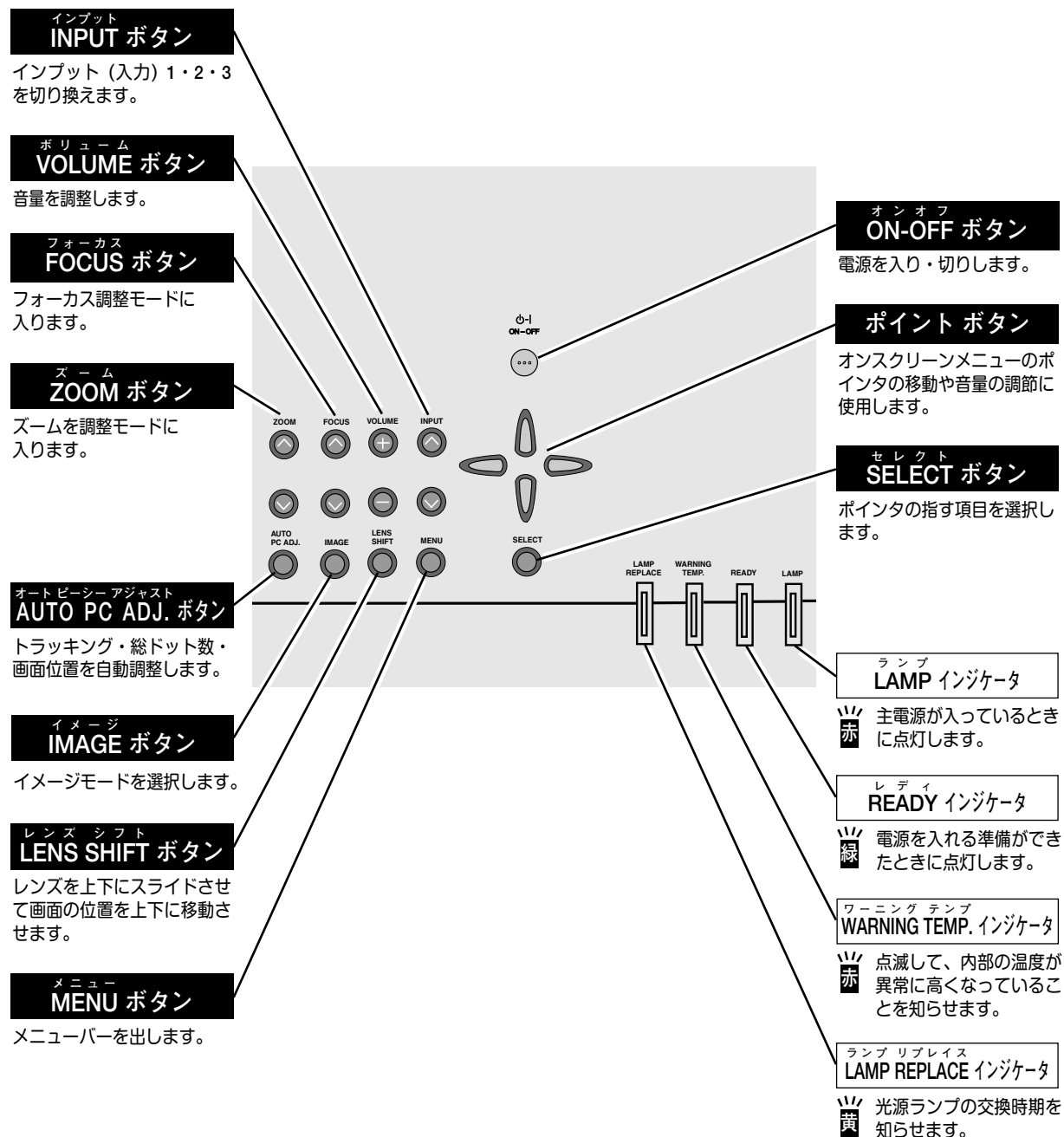
LASER RADIATION
DO NOT STARE INTO BEAM
CLASS 2 LASER PRODUCT
LASER-STRAHLUNG
NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN
LASER-KLASSE 2
レーザー放射 クラス2 レーザ製品
ビームをのぞき込まないこと
IEC60825-1, Am.1 1997
MAX OUTPUT (最大出力) : 1mW
WAVE LENGTH (波長) : 650±20nm

親指でポイントボタンの上・下・左・右、SELECT ボタン、右クリックボタンを押します。

レーザーポインタ
インジケータ

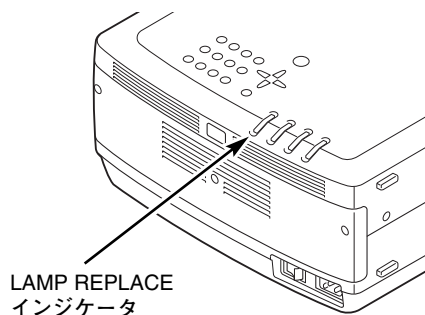
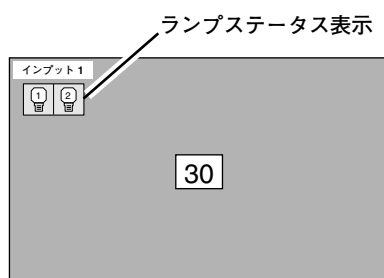
レーザーポインタ
発光部

本体操作パネルのボタン



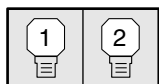
ランプマネージメントについて

本機は2個のランプを搭載しています。ランプマネージメントはこれらのランプの点灯状況を監視し、ランプを最良の点灯状態になるよう自動的にコントロールし、ランプの点灯状態を画面のランプステータス表示と、プロジェクタ本体の LAMP REPLACE インジケータで表示します。



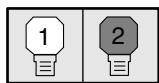
ランプステータス表示

電源を入れた後のオープニング画面 (カウントダウン表示) が終わった後や、インプット (入力) を切り換えたときに、画面左上に2個のランプ表示が約5秒間出ます。このランプ表示は、ランプのステータス (点灯状況) を示しています。表示の番号は内部に装着されている各ランプの番号を示しています。各ランプの状況で以下のように表示されます。



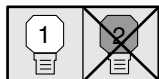
ランプが全て黄色で表示されている

2個のランプが正常に点灯している。



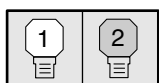
ランプが暗く表示されている

暗く表示されている番号のランプが点灯していません。ランプモードが 1 灯点灯のとき点灯していないランプが暗く表示されます。(41ページ参照)
(ランプの寿命切れ、故障ではありません。)



ランプにXマークが付き暗く表示されている

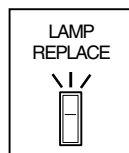
Xマークのランプが寿命で点灯していません。交換が必要です。
(交換のしかたは 50 ページ参照)
※LAMP REPLACE インジケータが点滅します。(次ページ参照)



ランプの何れかが赤く表示されている

赤く表示されているランプが寿命です。すみやかにランプを新しいものと交換してください。
(交換のしかたは 50 ページ参照)
※LAMP REPLACE インジケータが点灯します。(次ページ参照)

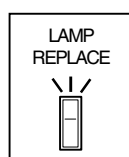
LAMP REPLACE インジケータ



2個のランプの何れかがランプ寿命に近づくと、LAMP REPLACEインジケータが点灯します。

LAMP REPLACE インジケータが点灯している

このインジケータが点灯すると、2個のランプの何れかにランプ寿命が近づいているものがあります。該当するランプは、画面のステータス表示でご確認ください。



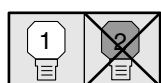
2個のランプの何れかが故障または寿命により不点灯になると、LAMP REPLACEインジケータが点滅します。

LAMP REPLACE インジケータが点滅している

このインジケータが点滅しているときは、2個のランプの何れかが故障または寿命により点灯していません。ステータス表示で該当ランプをご確認のうえ、ランプ交換を行なってください。
(50ページ参照)

自動ランプ点灯モード切り換え

プロジェクタが最良の点灯状態となるようにランプマネージメントはランプの点灯モードをランプの状態により自動的に切り換えます。



2個のランプの何れかが寿命または故障で不点灯になると、自動的に点灯モードが1灯点灯になります。

1灯点灯モード

2個のランプの何れかが寿命または故障で不点灯になると、不点灯（ステータス表示で Xマーク付き）でないランプによる 1灯点灯に切り換わります。

※2個のランプが正常に点灯している場合でも、ランプ点灯モードを 2灯点灯または 1灯点灯へ手動で切り換えることができます。（43ページ参照）

※2個のランプが正常で 1灯点灯させた場合、2個のランプで積算点灯時間が短い方のランプを自動検出し、そのランプを優先して点灯させます。

オンスクリーンメニューの操作方法

メニュー操作の基本を覚えてください

オンスクリーンメニュー(画面上のメニュー)の操作は、①ポインタを移動し、②ポインタの指す項目を選択するのが基本です。

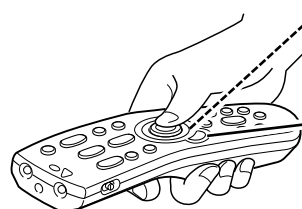
①ポインタの動かし方

ポインタは、ポイントボタンで上下左右に動かします。ポイントボタンはリモコンと操作パネルにあります。

②項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコンを選択するには、SELECTボタンを押します。SELECTボタンはリモコンと操作パネルにあります。

(リモコン)



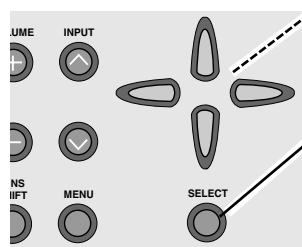
ポイントボタン

ポインタを上下左右に動かします。

SELECTボタン

ポインタの指す項目を選択します。

(操作パネル)



ポイントボタン

ポインタを上下左右に動かします。

SELECTボタン

ポインタの指す項目を選択します。

操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

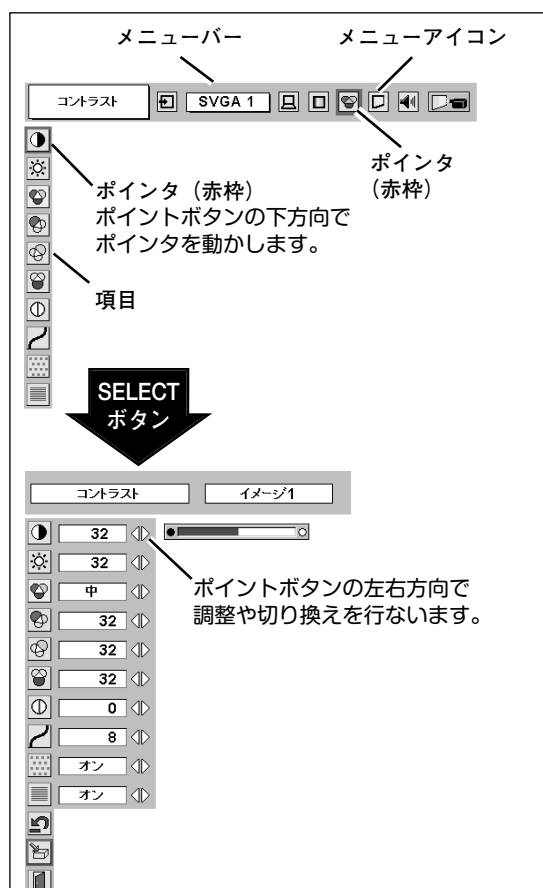
- 1 MENU ボタンを押すと、画面上にメニューバーが表示されます。(次ページ参照) メニューバーには選択できるメニューがアイコン(操作をイメージした図)の形で一覧表示されます。
アイコンを囲んでいる赤い枠がポインタです。

メニューを選択する

- 2 赤い枠のポインタを、ポイントボタンの左右方向で選択したいメニューのアイコンに移動させます。

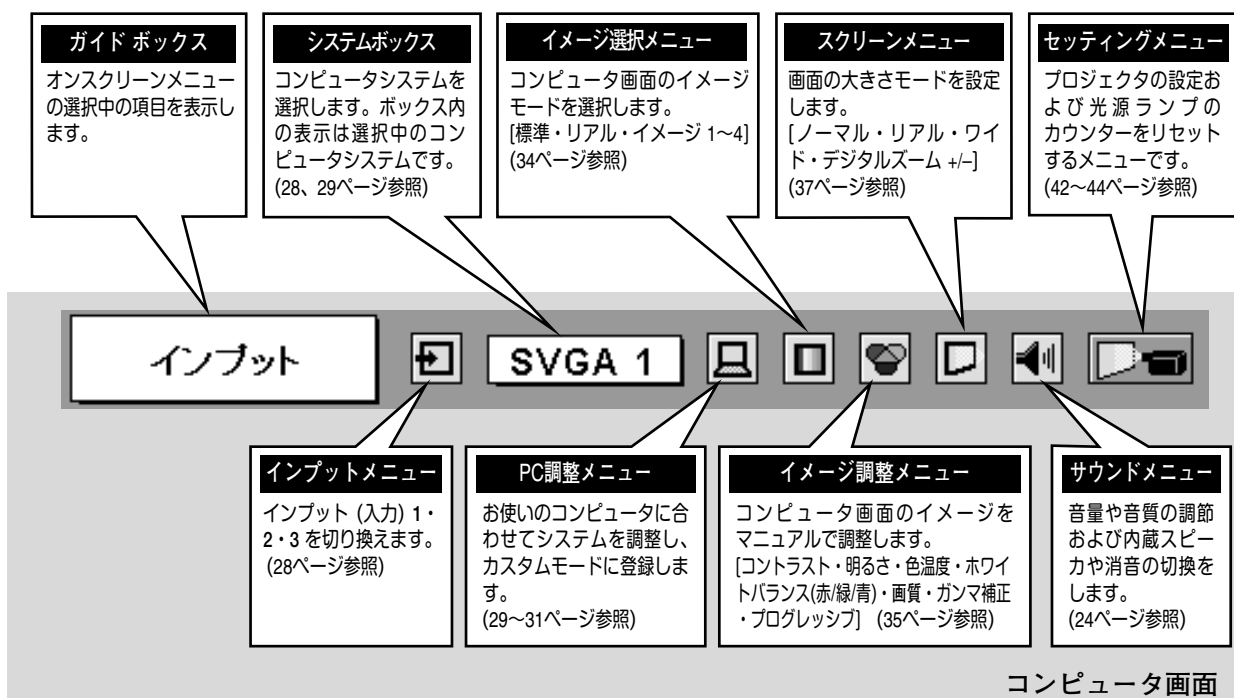
メニュー画面で調整や切り換えを行なう

- 3 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に降ろし、調整する項目にポインタを合わせます。
- 4 SELECT ボタンを押して、調整する項目の設定状態をメニュー画面に出します。
- 5 ポイントボタンの左右方向で、調整や切り換えを行ないます。
それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明項を参照してください。

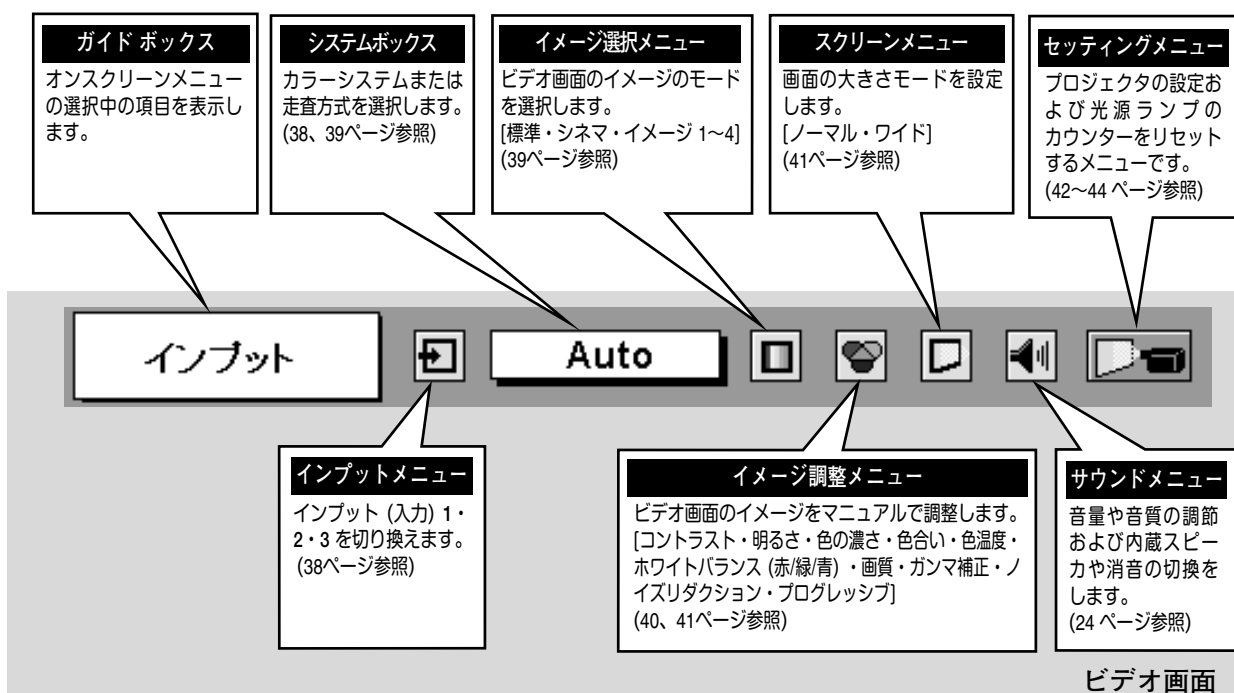


メニューバー

コンピュータ画面のメニューバー



ビデオ画面のメニューバー



基本操作

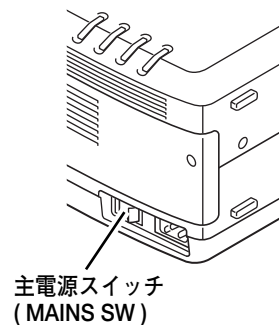
電源を入れ画面を投影する

電源を入れる

- 1 後面の主電源スイッチ (MAINS SW) を「ON」(入) します。
赤色の LAMP インジケータと緑色の READY インジケータが点灯します。
- 2 リモコンまたは操作パネルの ON-OFF ボタンを押して電源を入れます。
LAMP インジケータが少し暗めの点灯にかわります。
約30秒間のオープニング画面 (カウントダウン表示) が終わると、画像が映せます。

※オープニング画面が終わると画面の左上に2個のランプ表示 (ランプの点灯状況を示すランプステータス表示) が約5秒間出ます。ランプステータス表示について、詳しくは18ページをごらんください。

※セッティングメニューで「オンスクリーン表示 オフ」に設定しているときは、オープニング画面およびランプステータス表示は出ません。



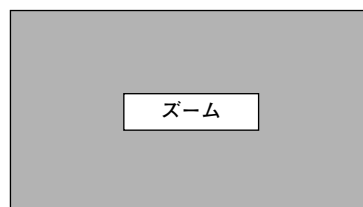
● 電源を切った後、約90秒間は電源が入りません ●

電源を切った後、約90秒間は、次の点灯に備え、高温になった光源ランプを冷却しています。この間は ON-OFF ボタンを押しても電源は入りません。90秒経ち、緑色の READY インジケータが点灯すれば電源を入れることができます。

画面の大きさを決める

リモコンまたは操作パネルで操作するとき

ZOOM ボタン 上方向・・・画面が大きくなります。
ZOOM ボタン 下方向・・・画面が小さくなります。



※表示は約4秒間出ます。

フォーカスを合わせる

リモコンまたは操作パネルで操作するとき

FOCUS ボタンの上下方向で、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

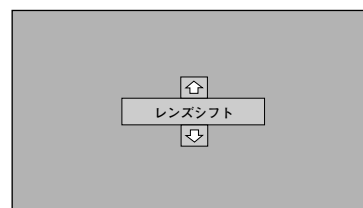


※表示は約4秒間出ます。

レンズシフト機能で画面の位置を上下に動かす

リモコンまたは操作パネルで操作するとき

- 1 LENS SHIFT ボタンを押してレンズシフト調整モードに入ります。
画面に「レンズシフト」表示が現れます。
- 2 表示が出ている間にポイントボタンの上下方向で、画面の位置を上下に動かします。
移動中に上下方向の矢印が赤色に変わる位置があります。
その位置がレンズの上下方向の標準位置です。



- ※表示は約4秒間出ます。
- ※レンズシフト機能で調整した内容は、主電源を切っても記憶されています。
- ※画面位置は、標準位置から上下へそれぞれ画面の高さの約半分まで動かすことができます。詳しくは、別冊の「レンズ交換・取付作業手順書」に従って行ってください。
- ※画面位置を動かしたときは、多少画面が暗くなることがあります。

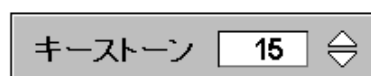
キーストーン調整で画面の台形ひずみを補正する

リモコンで操作するとき

リモコンの KEYSTONE ボタンの上下方向で、画面の台形ひずみを補正します。

KEYSTONE ボタン 上方向・・・画面上部の幅が縮みます。
KEYSTONE ボタン 下方向・・・画面下部の幅が縮みます。

※表示は約4秒間出ます。



※「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

※キーストーン調整で補正していないときの調整値は「0」です。

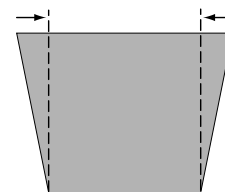
操作パネルで操作するとき

- 1 操作パネルの MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポイントをセッティングメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポイントをメニュー内に下ろしてキーストーンのアイコンにポイントを合わせ、SELECT ボタンで選択すると、キーストーン調整モードに入ります。
(40ページ参照)
画面に「キーストーン」表示が現れます。
- 3 表示が出ている間にポイントボタンの上下方向で、画面の台形ひずみを補正します。(−127から127まで)
ポイント ボタン 上方向・・・画面上部の幅が縮みます。
ポイント ボタン 下方向・・・画面下部の幅が縮みます。

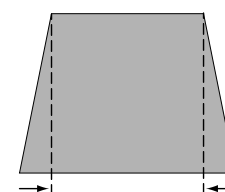
※キーストーン調整で補正した内容は、主電源スイッチを切っても記憶されています。

※キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

KEYSTONE ボタン上方向、またはポイントボタン上方向



KEYSTONE ボタン下方向、またはポイントボタン下方向



音量や音質を調節する・一時的に消音する (MUTE)

ダイレクトボタンで音を調節する

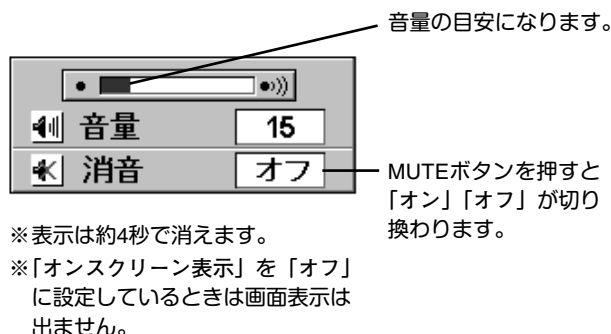
音量調節

リモコンまたは操作パネルの VOLUME ボタン (+/-) で音量を調節します。音量バーを目安にして調節してください。

消音

リモコンの MUTE ボタンを押すと、一時的に音が消えます。もう一度 MUTE ボタンを押すか、VOLUME ボタン (+/-) を押すと解除されます。

※ MUTE ボタンは操作パネルにはありません。



サウンドメニューで調節する

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをサウンドメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろしてお好みの項目にポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。



音量・高音・低音 調節

調整や切り換えはポイントボタンの左右方向で行ないます。調節のバーを目安に調節してください。



スピーカ

ポイントボタンの右または左方向で「オフ」に切り換えると、一時的に音を消すことができます。「オン」にすると再び音が出ます。

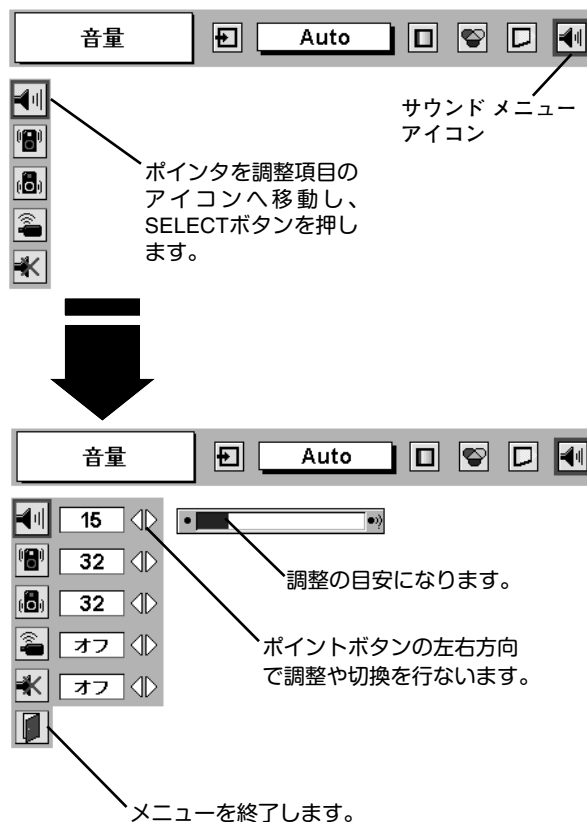
※ 本機の音声を外部機器へ出力して、外部スピーカで再生するときは、「オフ」にします。



消音

ポイントボタンの右または左方向で「オン」に切り換えると、一時的に音を消すことができます。「オフ」にすると再び音が出ます。

サウンドメニュー



画面を一時的に静止させる (FREEZE)

リモコンの FREEZE ボタンを押すと、再生機器に関係なく投影画面だけが静止します。もう一度 FREEZE ボタンを押すと、解除されます。

※ FREEZE ボタンは操作パネルにはありません。

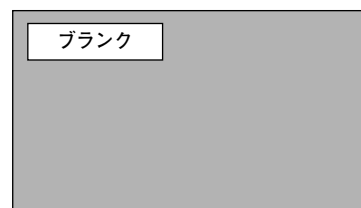
● こんなときに便利です ●

プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には FREEZE ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行なえます。

画面を一時的に消す (NO SHOW)

リモコンの NO SHOW ボタンを押すと、「ブランク」表示が出て再生機器に関係なく投影画面を一時的に消すことができます。もう一度 NO SHOW ボタンを押すと、解除されます。

※ NO SHOW ボタンは操作パネルにはありません。



※表示は約4秒間出ます。

● こんなときに便利です ●

プレゼンテーション中にプレゼンターの話に集中してほしいときや、視聴者に見せたくない画面があるときなどに便利です。

プレゼン時に経過時間を表示する (P-TIMER)

リモコンの P-TIMER ボタンを押すとボタンを押したときからの経過時間をカウントし、画面に表示します。もう一度 P-TIMER ボタンを押すと経過時間のカウントを止め、それまでの経過時間を画面に表示します。さらに P-TIMER ボタンを押すと解除されます。

※ P-TIMER ボタンは操作パネルにはありません。



※00分00秒から最長59分59秒まで経過時間を画面表示できます。

● こんなときに便利です ●

プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行なうことができます。

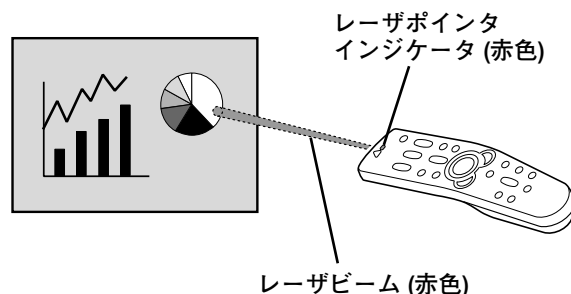
レーザーポインタを使用する (LASER)

リモコンの LASER ボタンを押している間レーザーポインタインジケータ (赤色) が点灯し、リモコンのレーザーポインタ発光部からレーザービームが出ます。(16ページ参照)
ボタンを押すのを止めると、レーザービームの発光は止まります。

※LASER ボタンは操作パネルにはありません。

※LASER ボタンを押し続けても、1分経つと安全のため自動的にレーザービームの発光が止まります。

LASER ボタンを押すのを止め、再び LASER ボタンを押すと、レーザービームが再び出ます。



● こんなときに便利です ●

プレゼンテーション中に画面を見ながら、画面の中で注目してしてほしい部分を直接簡単に示すことができます。



警告

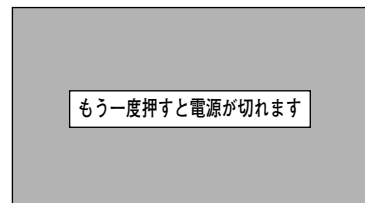
リモコンのレーザーポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。

LASER RADIATION
DO NOT STARE INTO BEAM
CLASS 2 LASER PRODUCT
LASER-STRAHLUNG
NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN
LASER KLASSE 2
レーザー放射 クラス2 レーザ製品
ビームをのぞき込まないこと
IEC60825-1, Ann.1 1997
MAX OUTPUT (最大出力) : 1mW
WAVE LENGTH (波長) : 650±20nm



電源を切る

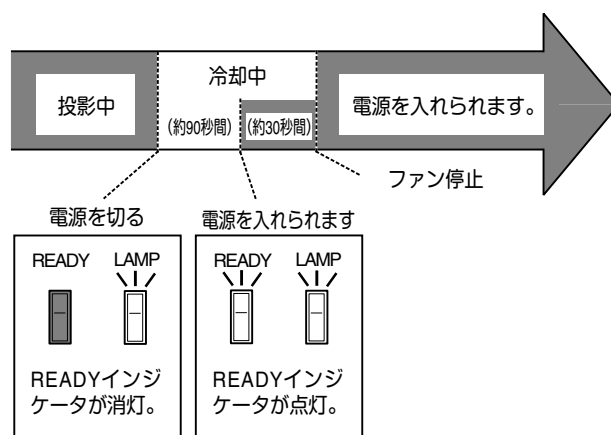
- 1 リモコンまたは操作パネルの ON-OFF ボタンを押すと、画面に「もう一度押すと電源が消えます」の表示が出ます。
- 2 表示が出ている間に再度 ON-OFF ボタンを押すと画面と音が消え、電源が切れます。
電源が切れると緑色の READYインジケータが消え、赤色の LAMPインジケータが明るく点灯します。



※表示は約4秒間出ます。

● 電源を切った後、約90秒間は電源が入りません ●

電源を切った後は次の点灯に備え、高温になった光源ランプを冷却しています。この間はON-OFFボタンを押しても電源は入りません。約90秒経ち、緑色の READYインジケータが点灯すれば電源を入れることができます。READYインジケータが点灯後、さらに約30秒間冷却してファンが停止します。



● 光源ランプを長持ちさせるために ●

光源のランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約5分以上点灯させてから電源を切ってください。電源プラグを抜くときは、ON-OFFボタンで電源を切り、約90秒経過後、緑色の READYインジケータが点灯してから行なってください。電源が入った状態からいきなり主電源を切ったり、電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。

● 冷却ファンについて ●

電源が入っている間、温度によりファンの回転速度が自動的に切り換わりますが、故障ではありません。

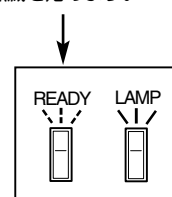
パワーマネージメント機能とそのはたらき

本機にはパワーマネージメント機能が搭載されています。5分30秒以上信号が入力されず、またプロジェクトも操作されなかった場合、パワーマネージメント機能が働き、電力の節約とランプの寿命を助けるはたらきをします。
工場出荷時は、パワーマネージメント機能は「オン」に設定されています。

動作について

- 1 プロジェクタの入力信号が中断し、30秒以上プロジェクタが操作されないと、画面に「入力信号なし」とタイマーの表示が現われ、タイマーが5分からカウントダウンを始めます。
- 2 5分経過するとランプが消灯し、ファンが回転してランプの冷却を行ないます。ランプ冷却中は READYインジケータが消灯し、ランプの点灯は出来ません。
- 3 ランプの冷却が完了すると READYインジケータが点滅を始め、パワーマネージメントモードになっていることを知らせます。(パワーマネージメントモードの間も、プロジェクタのファンは回転しています。) この状態の時に、信号が入力されたりプロジェクタが操作されるとランプが点灯し、画像が投影されます。

パワーマネージメントモードになると、READYインジケータが点滅を始めます。



※ パワーマネージメント機能の「オン」「オフ」の設定については、43ページをごらんください。

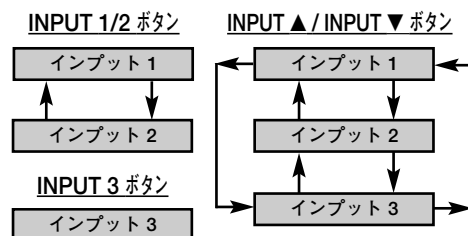
コンピュータ入力

コンピュータ入力に切り換える

INPUTボタンで入力を切り換える

リモコンの INPUT 1/2、INPUT 3 または操作パネルの INPUT ボタンを押して、コンピュータ信号が入力されているインプット（入力端子）を選択します。

※ 選択したインプット（入力端子）の画面表示は、そのときのランプステータス表示（18ページ参照）と共に約4秒間出ます。



※ ボタンを押すごとに切り換わります。

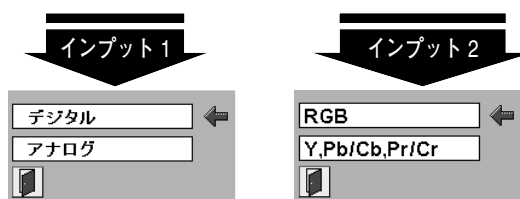
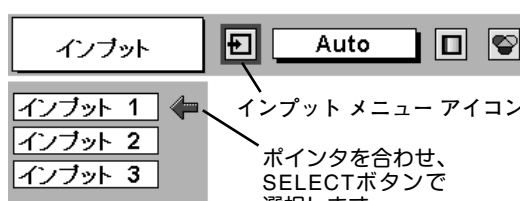
インプットメニューで入力を切り換える

- 1 MENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをインプットメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろし、コンピュータ信号が入力されているインプット（入力端子）にポインタを合わせ、SELECTボタンを押すと、信号形式選択メニューが現われます。
- 3 ポインタを希望する信号形式に合わせ、SELECTボタンで選んでください。

※ DVI入力端子選択時にデジタル信号を接続しているときは「デジタル」を、アナログ信号を接続しているときは「アナログ」を選びます。

※ BNCx5ピン入力端子選択時は「RGB」を選びます。

インプットメニュー



信号形式選択メニュー

ポインタを希望する信号形式へ移動し、SELECTボタンを押して選択します。

コンピュータシステムの選択

システムモードが自動選択されます

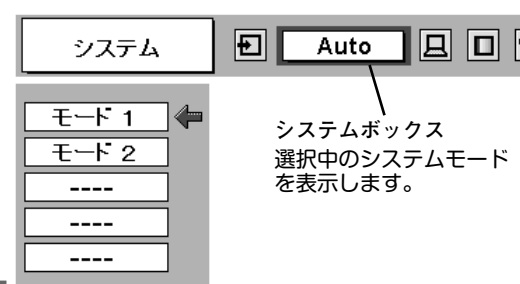
(マルチ スキャン システム)

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステムモード (VGA、SVGA、XGA、SXGA、UXGA・・・) を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作をせずにコンピュータ画面を投影することができます。

選択されたシステムモードは、メニューバーのシステムボックスに表示されます。(32、33ページ参照)

※ システムボックスには、下記のメッセージが表示されることがあります。

システムメニュー



● システムボックスに表示されるメッセージ ●

Auto

接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクタに用意されていない場合、自動PC調整機能が働き、システムボックスに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投影されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、カスタムモードに登録してください。(30、31ページ参照)

コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。(45～47ページ参照)

D-VGA ・ D-SVGA ・ D-XGA ・ D-SXGA 1 ・ D-SXGA 2 ・ D-SXGA 3 ・ D-UXGA

コンピュータの入力信号がデジタルの場合に表示されます。(33ページ参照)

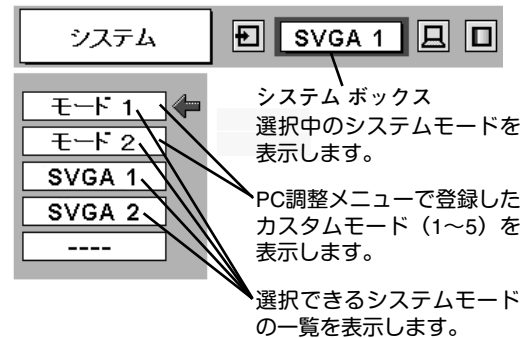
システムモードをマニュアルで選択するとき

カスタムモード*を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

- 1 MENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをシステムボックスに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろし、選択したいシステムモードにポインタを合わせ、SELECTボタンで選択します。

※カスタムモード：お使いのコンピュータに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。(次ページ参照)

システムメニュー



コンピュータシステムの調整

自動PC調整機能

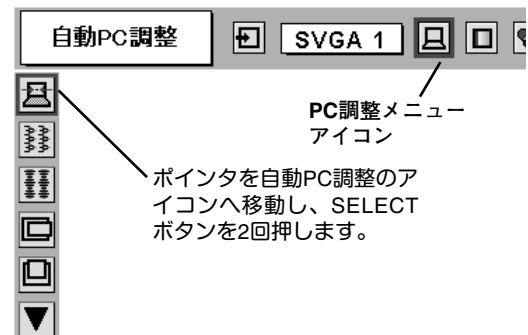
調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「画面位置」の3項目を自動調整することができます。

自動PC調整

- 1 MENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをPC調整メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろし、自動PC調整のアイコンにポインタを合わせて SELECTボタンを押すとPC調整画面が出ますので、SELECTボタンをもう一度押して自動調整してください。

自動PC調整機能は、リモコンまたは操作パネルのAUTO PC ADJ. ボタンを押してもはたります。

PC調整メニュー



※自動PC調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「画面位置」のすべてを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整し、カスタムモードに登録してください。(次ページ参照)

※自動調整した内容を一度登録しておくと、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、31ページのマニュアルPC調整の手順3をごらんください。

※コンピュータからの入力信号がデジタルの場合や、システムメニューでRGB、480p、575p、720p (HDTV)、1035i (HDTV)、1080i50 (HDTV)、1080i60 (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、自動PC調整機能ははたしません。

マニュアルPC調整 (カスタムモードを登録する)

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものもあります。メニューバーのシステムボックスに「Auto」と表示され、画像が正しく投影されないときは、PC調整メニューでマニュアル調整し、カスタムモードを登録してください。登録したカスタムモードは、システムメニューで選択できます。カスタムモードとして5つまで登録することができます。

※コンピュータからの入力信号がデジタルの場合は、PC調整メニューは機能しません。

1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポイントをPC調整メニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタンの下方向でポイントをメニュー内に下ろして調整したい項目のアイコンにポイントを合わせ、SELECT ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながらポイントボタンの左右方向で行ないます。

※画面領域 H と V は、ポイントボタンで調整後 SELECT ボタンを押して調整値を決定する必要があります。



トラッキング

トラッキング (同期) がずれて画面のチラつきがあるときに調整します。(0から31まで)

※コンピュータによっては、画面のチラつきが完全に消えない場合があります。



総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。



水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。



垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。



コンピュータ情報

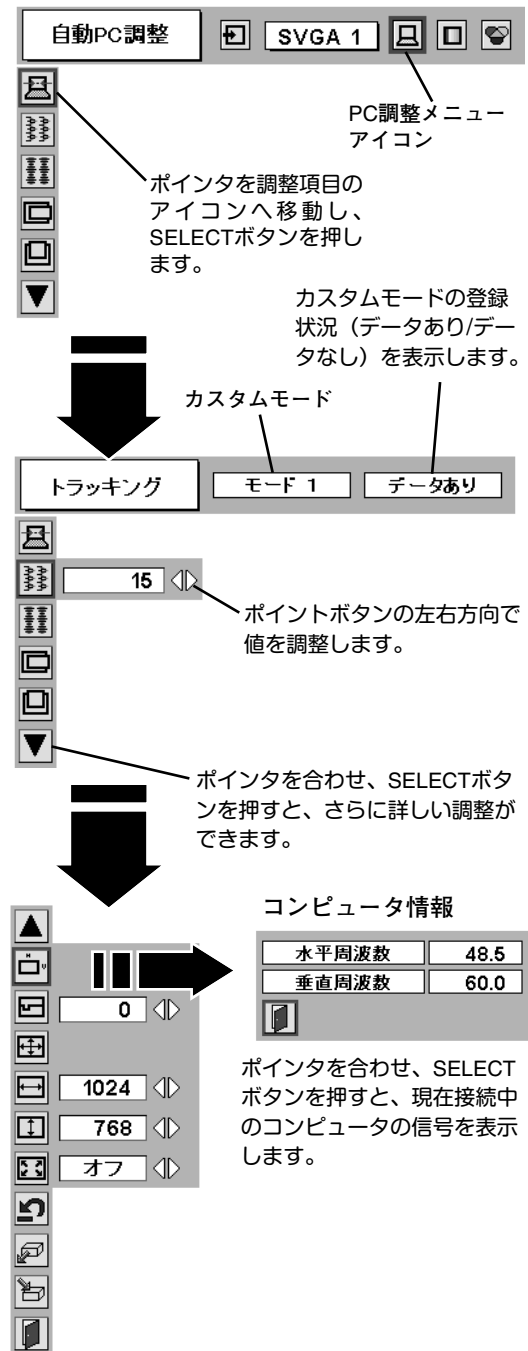
現在接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。



クランプ

クランプ位置を調整します。

PC調整メニュー





画面領域

あらかじめ近い解像度に調整するときに使います。



画面領域 H

水平解像度を調整します。ポイントボタンの左右方向でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

※画面領域 H は、ポイントボタンで調整後 SELECTボタンを押して調整値を決定する必要があります。



画面領域 V

垂直解像度を調整します。ポイントボタンの左右方向でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

※画面領域 V は、ポイントボタンで調整後 SELECTボタンを押して調整値を決定する必要があります。



フルスクリーン

オン・・・横4：縦3 のフルスクリーンサイズで投影します。

オフ・・・オリジナルの画像の縦横比で投影します。

※システムメニューで RGB、480p、575p、720p (HDTV)、1035i (HDTV)、1080i50 (HDTV)、1080i60 (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、「トラッキング」「画面領域」「画面領域 H」「画面領域 V」「フルスクリーン」の調整はできません。

3



メモリー

ポイントをメモリーアイコンに合わせ、SELECTボタンを押すと、PC調整データ登録メニューが現われます。登録したいモード (モード 1 から 5 までのいずれか) にポイントを合わせ、SELECTボタンを押します。



データ消去

ポイントをデータ消去アイコンに合わせ、SELECTボタンを押すと、PC調整データ消去メニューが現われます。消去したいモードにポイントを合わせ、SELECTボタンを押します。



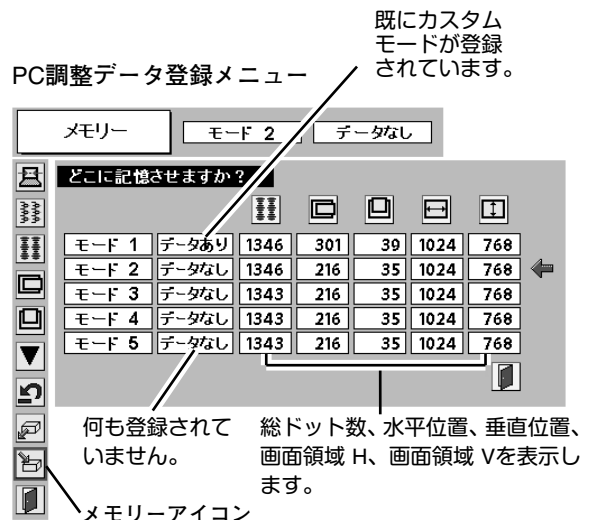
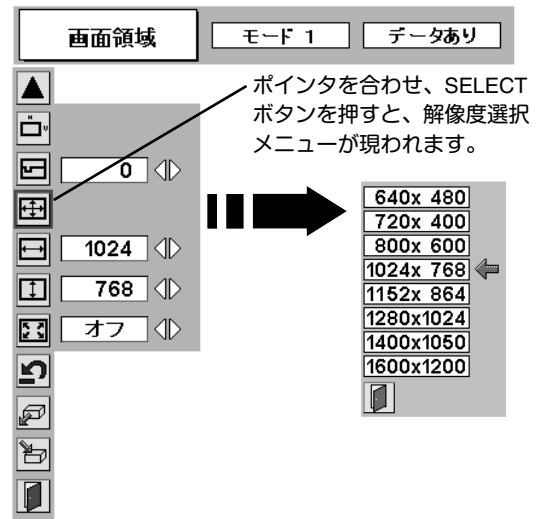
リセット

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。

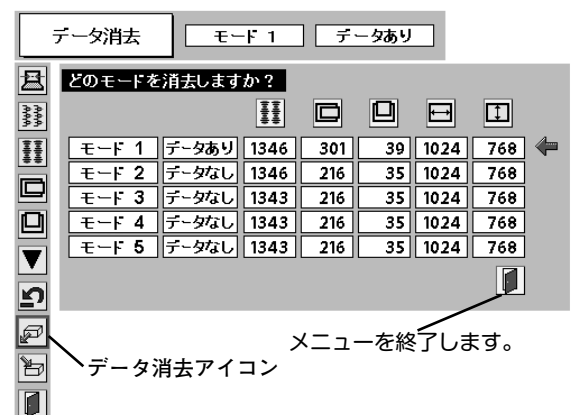


戻る

メニューを終了します。



PC調整データ消去メニュー



コンピュータシステムモード一覧

コンピュータの信号がアナログの場合

プロジェクトにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。(カスタムモード 1~5 は含みません。)
接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクトが以下のシステムモードを自動で選択します。

システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
VGA 1	640 x 480	31.47	59.88	XGA 13	1024 x 768	46.90	58.20
VGA 2	720 x 400	31.47	70.09	XGA 14	1024 x 768	47.00	58.30
VGA 3	640 x 400	31.47	70.09	XGA15	1024 x 768	58.03	72.0
VGA 4	640 x 480	37.86	74.38	Mac 19	1024 x 768	60.24	75.08
VGA 5	640 x 480	37.86	72.81	Mac 21	1152 x 870	68.68	75.06
VGA 6	640 x 480	37.50	75.00	SXGA 1	1152 x 864	64.20	70.40
VGA 7	640 x 480	43.269	85.00	SXGA 2	1280 x 1024	62.50	58.60
Mac LC13	640 x 480	34.97	66.60	SXGA 3	1280 x 1024	63.90	60.00
Mac 13	640 x 480	35.00	66.67	SXGA 4	1280 x 1024	63.34	59.98
RGB	(インターレース)	15.734	30	SXGA 5	1280 x 1024	63.74	60.01
RGB	(インターレース)	15.625	25	SXGA 6	1280 x 1024	71.69	67.19
480p	(プログレッシブ)	31.47	59.88	SXGA 7	1280 x 1024	81.13	76.107
575p	(プログレッシブ)	31.25	50	SXGA 8	1280 x 1024	63.98	60.02
SVGA 1	800 x 600	35.156	56.25	SXGA 9	1280 x 1024	79.976	75.025
SVGA 2	800 x 600	37.88	60.32	SXGA 10	1280 x 960	60.00	60.00
SVGA 3	800 x 600	46.875	75.00	SXGA 11	1152 x 900	61.20	65.20
SVGA 4	800 x 600	53.674	85.06	SXGA 12	1152 x 900	71.40	75.60
SVGA 5	800 x 600	48.08	72.19	SXGA 13	1280 x 1024 (インターレース)	50.00	43.00
SVGA 6	800 x 600	37.90	61.03	SXGA 14	1280 x 1024 (インターレース)	50.00	47.00
SVGA 7	800 x 600	34.50	55.38	SXGA 15	1280 x 1024	63.37	60.01
SVGA 8	800 x 600	38.00	60.51	SXGA 16	1280 x 1024	76.97	72.00
SVGA 9	800 x 600	38.60	60.31	SXGA 17	1152 x 900	61.85	66.00
SVGA 10	800 x 600	32.70	51.09	SXGA 18	1280 x 1024 (インターレース)	46.43	43.35
SVGA 11	800 x 600	38.00	60.51	SXGA 19	1280 x 1024	63.79	60.18
Mac 16	832 x 624	49.72	74.55	SXGA 20	1280 x 1024	91.146	85.024
XGA 1	1024 x 768	48.36	60.00	SXGA 21	1400 x 1050	63.93	60.00
XGA 2	1024 x 768	68.677	84.997	Mac	1280 x 960	75.00	75.08
XGA 3	1024 x 768	60.023	75.03	Mac	1280 x 1024	80.00	75.08
XGA 4	1024 x 768	56.47	70.07	UXGA 1	1600 x 1200	75.00	60.00
XGA 5	1024 x 768	60.31	74.92	UXGA 2	1600 x 1200	81.25	65.00
XGA 6	1024 x 768	48.50	60.02	UXGA 3	1600 x 1200	87.50	70.00
XGA 7	1024 x 768	44.00	54.58	UXGA 4	1600 x 1200	93.750	75.00
XGA 8	1024 x 768	63.48	79.35	720p (HDTV)	(プログレッシブ)	45.00	60.00
XGA 9	1024 x 768 (インターレース)	36.00	43.59	1035i (HDTV)	(インターレース)	33.75	30.00
XGA 10	1024 x 768	62.04	77.07	1080i60 (HDTV)	(インターレース)	33.75	30.00
XGA 11	1024 x 768	61.00	75.70	1080i50 (HDTV)	(インターレース)	31.25	25.00
XGA 12	1024 x 768 (インターレース)	35.522	43.48				

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

※ SXGA、UXGA、Mac21、Mac、720p (HDTV)、1035i (HDTV)、1080i60 (HDTV)、1080i50 (HDTV) の信号を投影するときは、信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

※ ドットクロックが 230MHz 以上のコンピュータの信号には対応しておりません。

コンピュータの信号がデジタルの場合

DVI 入力端子からデジタル信号を入力する場合、以下のシステムモードに対応しています。

システム モード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	システム モード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
D-VGA	640 x 480	31.469	59.940	D-SXGA 2	1280 x 1024	60.276	58.069
D-SVGA	800 x 600	37.879	60.317	D-SXGA 3	1280 x 1024	31.65	29.8
D-XGA	1024 x 768	48.363	60.004	D-UXGA	1600 x 1200	75.00	60.000
D-SXGA 1	1280 x 1024	63.981	60.020				

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

イメージの調整

IMAGEボタンでイメージモードを選択する

リモコンまたは操作パネルの IMAGEボタンを押すごとに、イメージモードが「標準」「リアル」「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」と切り換わります。

標準

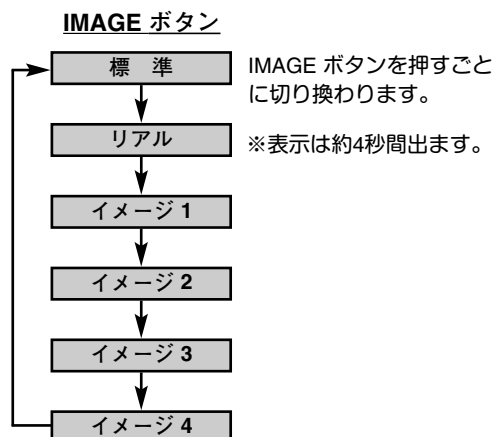
「コントラスト」「明るさ」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」が、工場出荷時設定の標準値になります。

リアル

中間調の再現性が高くなります。写真等のグラフィックスを自然な階調で再現できるように設定します。

イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。(次ページ参照)



イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

- 1 MENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをイメージ選択メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろしてお好みのイメージモードにポインタを合わせ、SELECTボタンで選びます。



標準

「コントラスト」「明るさ」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」が、工場出荷時設定の標準値になります。



リアル

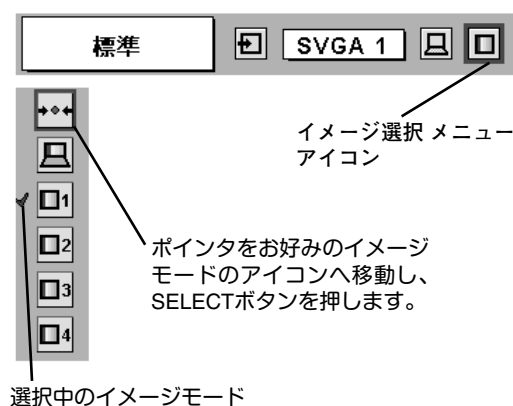
中間調の再現性が高くなります。写真等のグラフィックスを自然な階調で再現できるように設定します。



イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。(次ページ参照)

イメージ選択メニュー



マニュアルでイメージ調整を行なう

- 1 MENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポイントをイメージ調整メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポイントをメニュー内に下ろして調整したい項目のアイコンにポイントを合わせ、SELECTボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながらポイントボタンの左右方向で行ないます。

コントラスト

ポイントボタンの左方向でコントラストが薄くなり、ポイントボタンの右方向でコントラストが濃くなります。(0 から 63 まで)

明るさ

ポイントボタンの左方向で画像が暗くなり、ポイントボタンの右方向で画像が明るくなります。(0 から 63 まで)

色温度

ポイントボタンの左右方向で好みの色温度（超低ー低ー中ー高）を選択します。

※ この設定をするとホワイトバランスの調整値も変化します。

ホワイトバランス（赤・緑・青）

ポイントボタンの左方向で各色調が薄くなり、ポイントボタンの右方向で各色調が濃くなります。(0 から 63 まで)

※ この設定をすると色温度の表示が「調整中」になります。

画質

ポイントボタンの左方向で映像がやわらかくなり、ポイントボタンの右方向で映像がくっきりなります。(0 から 15 まで)

ガンマ補正

ポイントボタンの左右方向で画像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。(0 から 15 まで)

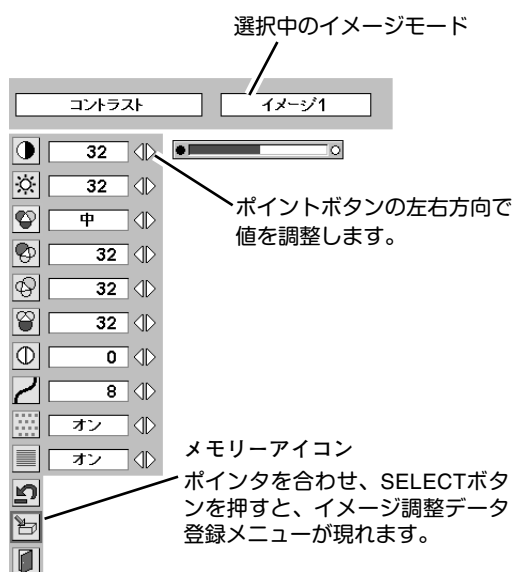
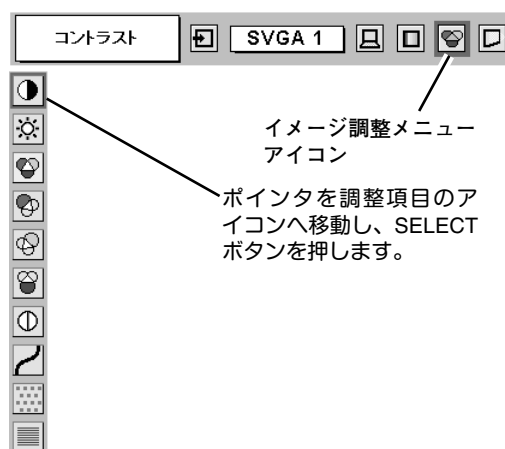
ノイズリダクション

オン・・・ノイズの多い映像を見るとき「オン」にすると、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。

オフ・・・ノイズのない映像を見るときは「オフ」に設定してください。

※「ノイズリダクション」は、システムモードが RGB、480p、575p、720p(HDTV)、1035i (HDTV)、1080i50 (HDTV)、1080i60 (HDTV) のときのみ動作します。

イメージ調整メニュー





プログレッシブ

ポイントボタンの左右方向で「オン」「オフ」を選択します。

※「プログレッシブ」は、システムモードが RGB、1035i (HDTV)、1080i50 (HDTV)、1080i60 (HDTV) のときのみ動作します。



3



メモリー

ポイントをメモリーアイコンに合わせ、SELECTボタンを押すと、イメージ調整データ登録メニューが現われます。登録したいイメージモード（イメージ 1 から 4 までのいずれか）にポイントを合わせ、SELECTボタンを押して登録します。



リセット

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。



戻る

メニューを終了します。



イメージ調整データ登録メニュー

登録したいイメージモードのアイコンにポイントを合わせ、SELECT ボタンを押して登録します。

適切な画像サイズに調整する

本機の液晶パネルは 1024x768ドットです。お好みにより、画像サイズや水平スケールを変えることができます。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをスクリーンメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろして選択したい機能のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択します。



ノーマル

画像を有効投影画面（1024x768ドット）の高さに合わせて投影します。



リアル

画像をオリジナルサイズで投影します。画像サイズが有効投影画面（1024x768ドット）よりも大きいときは、自動的に「デジタルズーム +」モードに入ります。



ワイド

画像を有効投影画面（1024x768ドット）の幅に合わせ、横16：縦9のワイド画面で投影します。



デジタルズーム +

「デジタルズーム +」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom +」表示が現われます。
SELECTボタンを押すごとに画像が拡大します。
ポイントボタンの上下左右方向で画像を移動させます。
画像の移動機能は、画像サイズが有効投影画面（1024x768ドット）よりも大きいときのみはたります。
リモコンの D.ZOOM ▲ ボタンを押しても画像の拡大ができます。

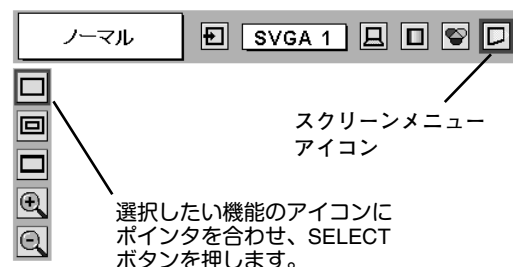


デジタルズーム -

「デジタルズーム -」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom -」表示が現われます。
SELECTボタンを押すごとに画像が縮小します。
リモコンの D.ZOOM ▼ ボタンを押しても画像の縮小ができます。

「デジタルズーム」モードから抜けるときは、D.ZOOM、SELECT、ポイント、LASER 以外のボタンを押します。

スクリーンメニュー



- ※ システムメニューで 720p(HDTV)、1035i (HDTV)、1080i50 (HDTV) または 1080i60 (HDTV)のシステムモードが選択されているときは、スクリーンメニューは機能しません。
- ※ システムメニューで RGB、480p または 575p のシステムモードが選択されているときは、「リアル」は選択できません。
- ※ システムメニューで RGB、480p、575p、720p(HDTV)、1035i(HDTV)、1080i60(HDTV)、1080i50(HDTV) のシステムモードが選択されているときは、「デジタルズーム +/-」は選択できません。
- ※ 本機は UXGA (1600x1200ドット) を超える解像度には対応していません。お使いのコンピュータの解像度が UXGA (1600x1200ドット) を超える場合は、プロジェクタに接続する前に低い解像度に再設定してください。
- ※ XGA (1024x768ドット) 以外の画像データは、有効投影画面 (1024x768ドット) に合うように自動的に画像サイズが変換されます。
- ※ PC調整メニューでマニュアル調整したカスタムモードをコンピュータのシステムモードに使用しているときは、「デジタルズーム +」モードのときの画像の移動機能は正しくはたらないことがあります。

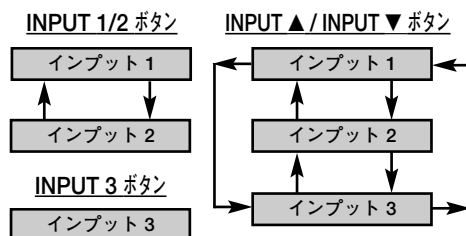
ビデオ入力

ビデオ入力に切り換える

INPUTボタンで入力を切り換える

リモコンの INPUT 1/2、INPUT 3 または操作パネルの INPUT ボタンを押して、ビデオ信号が入力されているインプット（入力端子）を選択します。

※ 選択したインプット（入力端子）の画面表示は、そのときのランプステータス表示（18ページ参照）と共に約4秒間出ます。



※ ボタンを押すごとに切り換わります。

インプットメニューで入力を切り換える

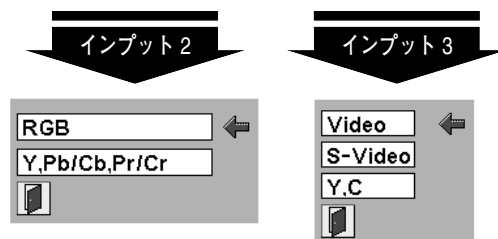
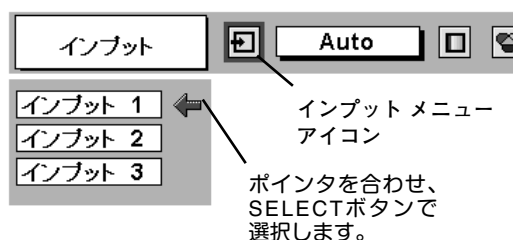
- 1 MENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをインプットメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろし、ビデオ信号が入力されているインプット（入力端子）にポインタを合わせ、SELECTボタンを押すと、信号形式選択メニューが現われます。

- 3 ポインタを希望する信号形式に合わせ、SELECTボタンで選んでください。

※ BNCx5ピン入力端子（R/P_r、G/Y、B/P_b）に接続したコンポーネント映像信号を選択するときは「Y,Pb/Cb,Pr/Cr」を選びます。

※ VIDEO、Y/C、S-VIDEO 入力端子の VIDEO、VIDEO/Y,C または S-VIDEO に接続した信号を選択するときは、「Video」「S-Video」「Y,C」の中から正しい信号形式を選んでください。

インプットメニュー



信号形式選択メニュー

ポインタを希望する信号形式へ移動し、SELECTボタンを押して選択します。

カラーシステムや走査方式を選択する

- 1 MENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをシステムボックスに合わせます。
- 2 ポインタを希望するカラーシステムまたは走査方式に合わせ、SELECTボタンで選んでください。

VIDEO、Y/C または S-VIDEO 端子入力選択時

Auto（自動）

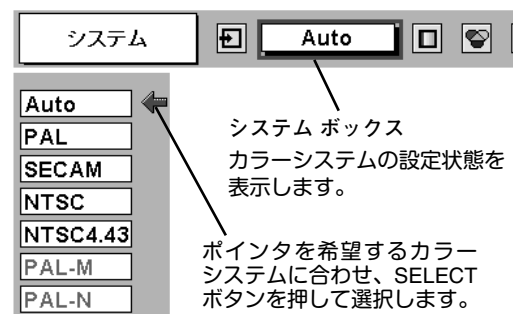
入力信号のカラーシステムにプロジェクタが自動で対応します。

※ PAL-MとPAL-N は、「Auto」に設定しても、システムは自動で選択されません。ポインタを合わせ、SELECTボタンを押して選んでください。

PAL・SECAM・NTSC・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムはNTSCです。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

システムメニュー
(コンポジット映像またはS映像入力時)



R/Pr, G/Y, B/Pb 端子入力選択時

Auto (自動)

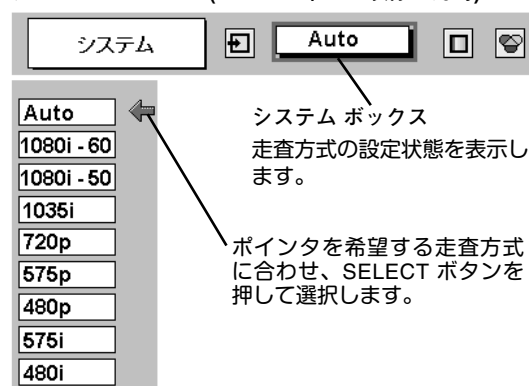
入力信号の走査方式にプロジェクトが自動で対応します。

※ 1080i60、1080i50 または 1035i の信号を入力しているときは、「Auto」に設定しても、走査方式が自動で選択されません。ポインタを合わせ、SELECTボタンを押して選んでください。

コンポーネント映像の走査方式

正しい映像が再生されないときは、1080i60、1080i50、1035i、720p、575p、480p、575i、480iの中から正しい走査方式を選んでください。

システムメニュー (コンポーネント映像入力時)



イメージの調整

IMAGEボタンでイメージモードを選択する

リモコンまたは操作パネルの IMAGEボタンを押すごとに、イメージモードが「標準」「シネマ」「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」と切り換わります。

標準

「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」が、工場出荷時設定の標準値になります。

シネマ

映画を見るのに適した階調表現を重視した画質に設定します。

イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。(次ページ参照)



イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

- 1 MENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをイメージ選択メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろしてお好みのイメージモードにポインタを合わせ、SELECTボタンで選びます。



標準

「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」が、工場出荷時設定の標準値になります。



シネマ

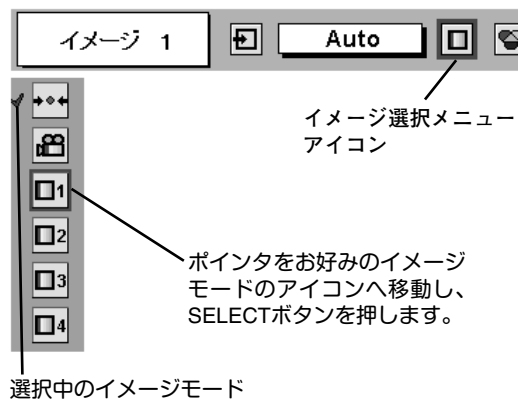
映画を見るのに適した階調表現を重視した画質に設定します。



イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。(次ページ参照)

イメージ選択メニュー



マニュアルでイメージ調整を行なう

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをイメージ調整メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろして調整したい項目のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながらポイントボタンの左右方向で行ないます。

コントラスト

ポイントボタンの左方向でコントラストが薄くなり、ポイントボタンの右方向でコントラストが濃くなります。(0 から 63 まで)

明るさ

ポイントボタンの左方向で映像が暗くなり、ポイントボタンの右方向で映像が明るくなります。(0 から 63 まで)

色の濃さ

ポイントボタンの左方向で色が薄くなり、ポイントボタンの右方向で色が濃くなります。(0 から 63 まで)

色合い

ポイントボタンの左方向で色が紫がかり、ポイントボタンの右方向で色が緑がかります。(0 から 63 まで)

色温度

ポイントボタンの左右方向で好みの色温度（超低一低一中一高）を選択します。

※ この設定をするとホワイトバランスの調整値も変化します。

ホワイトバランス（赤・緑・青）

ポイントボタンの左方向で各色調は薄くなり、ポイントボタンの右方向で各色調は濃くなります。(各色 0 から 63 まで)

※ この設定をすると色温度の表示が「調整中」になります。

画質

ポイントボタンの左方向で映像がやわらかくなり、ポイントボタンの右方向で映像がくっきりなります。(0 から 15 まで)

ガンマ補正

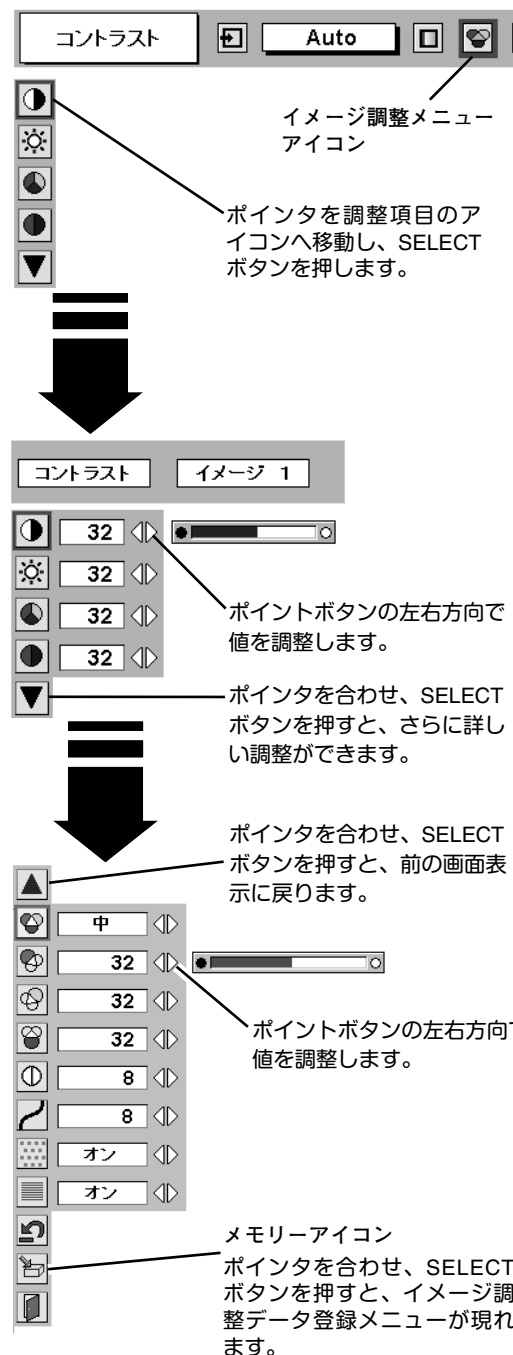
ポイントボタンの左右方向で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。(0 から 15 まで)

ノイズリダクション

オン・・・古いビデオやノイズの多い映像を見るとき「オン」にすると、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。

オフ・・・ノイズのない映像を見るときは「オフ」に設定してください。

イメージ調整メニュー



※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」の調整はできません。
(36ページ参照)

プログレッシブ

- オン**・・・動きの少ない映像をより鮮明に投影します。
- オフ**・・・動きの多い映像でチラつきや横線が目立つときは、「オフ」に設定してください。

※ システムメニューで 480p、575p、720p の信号を選択しているときは、「プログレッシブ」の「オン」「オフ」の切り換えはできません。

3 メモリー

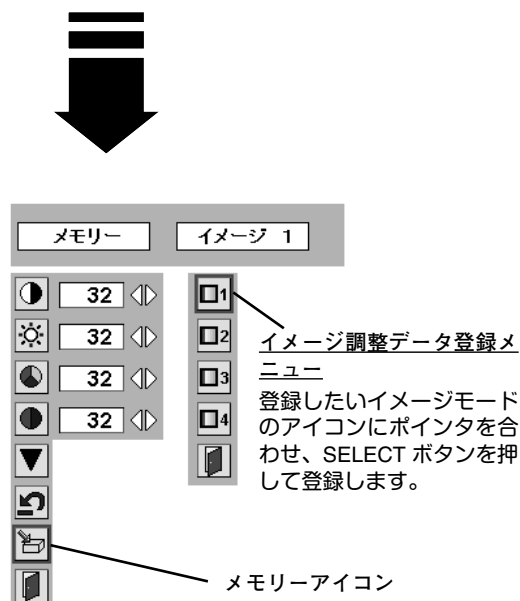
ポインタをメモリーアイコンに合わせ、SELECTボタンを押すと、イメージ調整データ登録メニューが現われます。登録したいイメージモード（イメージ 1 から 4 までのいずれか）にポインタを合わせ、SELECTボタンを押して登録します。

リセット

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。

戻る

メニューを終了します。



画面のサイズを選択する

お好みにより、画面サイズを 2種類の中から選択できます。

- MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをスクリーンメニューのアイコンに合わせます。
- ポイントボタンの下方向でポインタをメニュー内に下ろして選択したい機能のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択します。

ノーマル

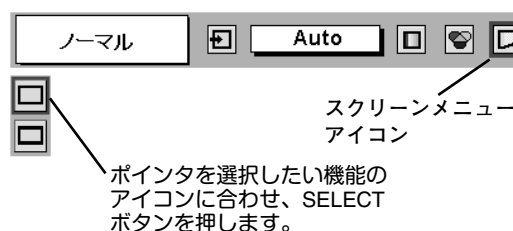
通常の映像のアスペクト比（横：縦）4：3 で投影します。

ワイド

通常の映像信号（アスペクト比 4：3）をアスペクト比 16：9 のワイド画面で投影します。

※ システムメニューで 1080-i60、1080-i50、1035i または 720p の信号（アスペクト比 16：9）が選択されているときは、スクリーンメニューは機能しません。

スクリーンメニュー



セッティングメニューの設定

- 1 MENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポイントをセッティングメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポイントをメニュー内に下ろして設定する項目のアイコンにポイントを合わせ、SELECTボタンで選択します。
選んだ項目の設定画面が現われます。



言語

画面表示の言語を切り換える機能です。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、中国語、ハングル語、日本語の 11 か国語の中から選べます。



キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。キーストーンを選択すると画面からメニュー表示が消えて「キーストーン」表示が現われ、キーストーン調整モードに入ります。ポイントボタンの上下方向で画面の台形ひずみを補正します。(23ページ参照)



ブルーバック

信号のないときにブルーの画面を出す機能です。この機能を「オン」にすると、画像の再生前や中断時のノイズの画面を映さずにブルーの画面を映します。



オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。

オン・・・すべての画面表示を出します。

オフ・・・以下の画面表示以外は出しません。

- ・メニューバー表示 (21 ページ参照)
- ・電源を切るときの「もう一度押すと電源が切れます」の表示
- ・パワーマネジメント時のタイマー表示 (43 ページ参照)
- ・P-TIMER 表示 (25 ページ参照)



ロゴ

この機能を「オフ」にすると、電源を入れたときのロゴ表示を画面に出しません。



天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して映します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

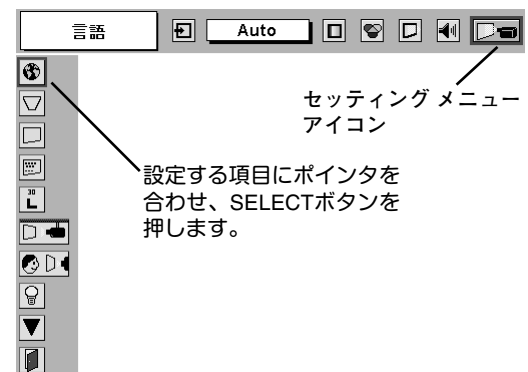
※ 吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



リア投影

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して映します。透過型スクリーンの後ろから投影するときに設定します。

セッティングメニュー

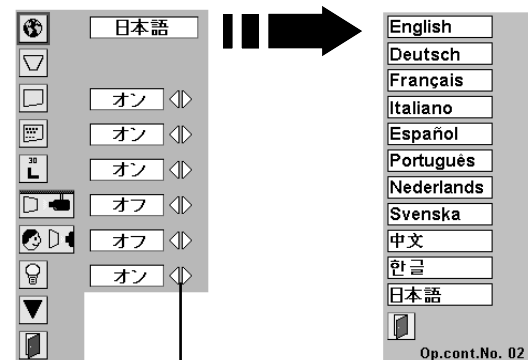


セッティングメニューアイコン

設定する項目にポイントを合わせ、SELECTボタンを押します。



言語のアイコンを選択すると言語メニューが現われます。



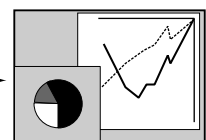
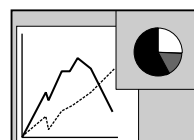
選択したい項目にポイントを合わせ、ポイントボタンの左右方向で設定します。

オプションコントロールナンバー (49 ページ参照)

天吊り機能

オフ (通常の画像)

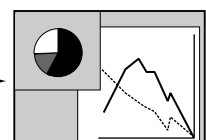
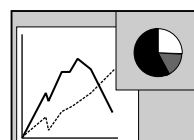
オン (天吊り設定時)



リア投影機能

オフ (通常の画像)

オン (リア投影設定時)





パワーマネージメント

入力信号がなく、プロジェクタが操作されない状態が 5分30秒続くと、ランプを消灯する機能です。

オン・・・無信号と無操作の状態が 30秒続くと、ランプ画面に「入力信号なし」とタイマーの表示が現われ、この後無信号と無操作が5分間続くとランプが消灯し、パワーマネージメントモードになります。
(パワーマネージメント機能とそのはたらきについて、詳しくは 27ページをごらんください。)

オフ・・・パワーマネージメント機能を解除します。

※ 工場出荷時は「オン」に設定されています。



オンスタート

主電源スイッチ (MAINS SW) を「ON」(入) にすると、リモコンや操作パネルの ON-OFF ボタンを押さなくても自動的にプロジェクタの電源を入れる機能です。

オン・・・主電源スイッチ (MAINS SW) を「ON」(入) にすると同時にプロジェクタの電源が入ります。

オフ・・・通常の電源の入り・切りを行ないます。主電源スイッチ (MAINS SW) を「ON」(入) にしても、リモコンまたは操作パネルの ON-OFF ボタンを押さなければプロジェクタの電源は入りません。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。



ランプモード

本機にはランプが 2灯搭載されていますが、プロジェクタを使う場所によってランプを 2灯点灯と、1灯点灯に切り換えて使うことができます。あまり明るい画面を必要としない投影や、投影場所が比較的暗い場所では 1灯点灯でご使用ください。ランプ寿命を長くしてご使用になれます。

2灯・・・2灯のランプを点灯させます。

1灯・・・1灯のランプを点灯させます。

※ 2灯から 1灯へ切り換えた場合、ランプが 1灯へ切り換えられ、少し暗くなります。1灯から 2灯へ切り換えた場合は、ランプ点灯準備のためすぐに明るくならず、約 60秒後に 2灯点灯の明るさになります。

※ 2灯から 1灯へ切り換えた後再び 2灯へ切り換える場合や、1灯から 2灯へ切り換えた後再び 1灯へ切り換える場合、約 90秒間はランプ点灯準備のため切り換えができません。



リモコンコード

本機は2種類の異なるリモコンコードで操作することができます。工場出荷時は「コード 1」に設定されており、2台目のプロジェクタ用 (拡張用) として「コード 2」に設定することができます。本機を2台ご使用の場合、リモコンコードを別々に設定しておく、誤動作防止になります。

コード 1・・・1台目のプロジェクタ用に使用します。

コード 2・・・2台目のプロジェクタ用 (拡張用) に使用します。

※ 本機 (プロジェクタ) を「コード 2」に設定した場合、リモコン本体のコードも「コード 2」に切り換える必要があります。リモコンの MENU と IMAGE ボタンの両方を 10秒以上押すと、リモコン本体のコードが「コード 2」に切り換わります。リモコン本体のコードを切り換えた後は、リモコンが正しく動作するか確認してください。リモコン本体のコードを「コード 1」に戻すときは、前述と同じ手順を行なうか、またはリモコンの ALL OFF スイッチを「ALL OFF」にしてください。また、リモコンの電池交換を行なうと、リモコン本体のコードが「コード 1」に戻ります。

※ SELECT・右クリック・ポイントボタンは、リモコンコードを切り換えてもコードは切り換わりません。

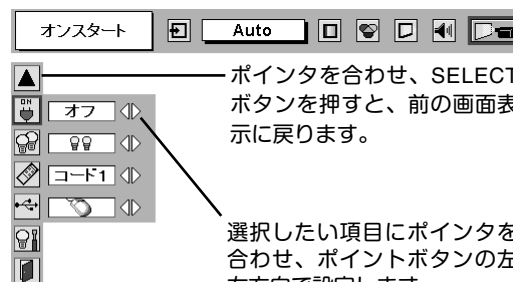
入力信号なし
4:53

↑
ランプ消灯までの時間

その他の設定項目



ポインタを合わせ、SELECT ボタンを押すと、その他の設定項目が現われます。



ポインタを合わせ、SELECT ボタンを押すと、前の画面表示に戻ります。

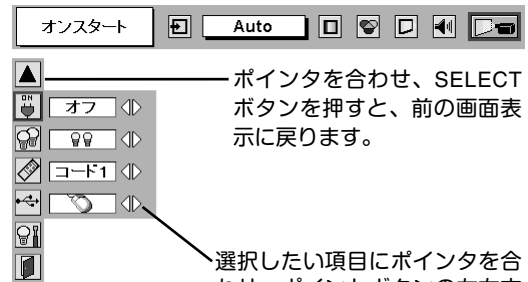
選択したい項目にポインタを合わせ、ポイントボタンの左右方向で設定します。



USB

USB規格対応の端子を持つコンピュータ機器と接続するときに使用します。本機のUSB端子とコンピュータのUSB端子を接続し、本機のUSB端子をエアマウス（ワイヤレスマウス）用として機能させるか、プロジェクタの制御用として機能させるかを設定します。

- ・・・本機のリモコンをエアマウス（ワイヤレスマウス）用として使用するときを選択します。
- ・・・本機のUSB端子をプロジェクタの制御用として使用するときを選択します。この機能は将来の為に設けられているものです。現時点ではご使用になれません。



ポインタを合わせ、SELECT ボタンを押すと、前の画面表示に戻ります。

選択したい項目にポインタを合わせ、ポイントボタンの左右方向で設定します。



ランプカウンターリセット

ランプカウンターをリセットするメニューです。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると LAMP REPLACEインジケータ(黄)の点灯が消えます。



注意

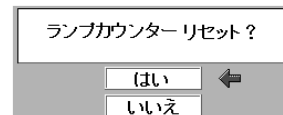
光源ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

- 1 電源を入れます。MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタをセッティングメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタを「ランプカウンターリセット」のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。
- 3 「ランプカウンターリセット？」が現われますので、ポイントボタンの上下方向で **はい** にポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。カウンターがリセットされます。

ランプカウンターリセット



「ランプカウンターリセット」のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンを押すとランプ選択メニューが現われます。交換したランプにポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。



「ランプカウンターリセット？」の表示が現われます。「はい」にポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。

機器をつなぐ端子

本機の側面にはコンピュータやビデオ機器を接続するための入出力端子を装備しています。機器をつなぐときは、この章を参照して正しく接続してください。

接続端子の入れ替え可能なカードスロット式接続端子 (INPUT 1～INPUT 3／交換のしかたは、49ページ参照)

DVI デジタル / アナログ入力端子

DVI規格対応の端子を持つコンピュータからのデジタル (TMDS) 出力またはアナログ (RGB) 出力と接続します。接続には付属の DVI用コンピュータ接続ケーブル、または必要に応じて付属の DOS/V用コンピュータ接続ケーブル、DVI/D-sub15 ピン変換アダプタを使用します。(46、58 ページ参照)

音声入力端子

コンピュータやビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。モノラルの音声は[L (MONO)]端子へ接続してください。(46、47 ページ参照)

コントロールポート端子

コンピュータのマウス操作をプロジェクタのリモコンで行なうときに、この端子とコンピュータのマウスポート端子を付属のマウスコントロールケーブルでつなぎます。(46、48、58 ページ参照)

音声出力端子

投影中のコンピュータまたはビデオ映像の音声を外部のオーディオ機器へ出力する端子です。(46、47 ページ参照)

USB 端子

USB規格対応の端子を持つコンピュータ機器との接続に使用します。(44、59 ページ参照)

S 映像 入力端子

ビデオ機器からの S映像出力をこの端子に接続します。(47 ページ参照)

シリアルポート出力端子

プロジェクタの SERIAL PORT IN 端子に入力されている信号をそのまま出力する端子です。1台のコンピュータで2台以上のプロジェクタの操作をするとき、この端子と2台目以降のプロジェクタの SERIAL PORT IN 端子をつなぎます。(59 ページ参照)

シリアルポート入力端子

プロジェクタの操作をコンピュータで行なうときにつなぐ端子です。この端子とのコンピュータのシリアルポート (またはモデムポートなど) をつなぎます。(46、59 ページ参照)

リモートコントロール端子

この端子とリモコンのワイヤードリモコン端子を付属の接続コードでつなぐと、リモコンがワイヤードリモコンとなり、リモコンの向きに関係なくプロジェクタの操作ができます。(16 ページ参照)

リセットボタン

本機の制御は内蔵のマイクロコンピュータによって行なわれていますが、まれにマイクロコンピュータの誤動作により、本機が正しく操作できないことがあります。そのような場合、リセットボタンを先の細い棒等で押して本機の再起動を行なってください。それ以外の場合は、リセットボタンを押さないでください。

ビデオ入力端子

ビデオ機器からの映像出力と接続します。コンポジット映像出力は VIDEO/Y へ、セパレート Y/C出力は VIDEO/Y, C へ接続します。(47 ページ参照)

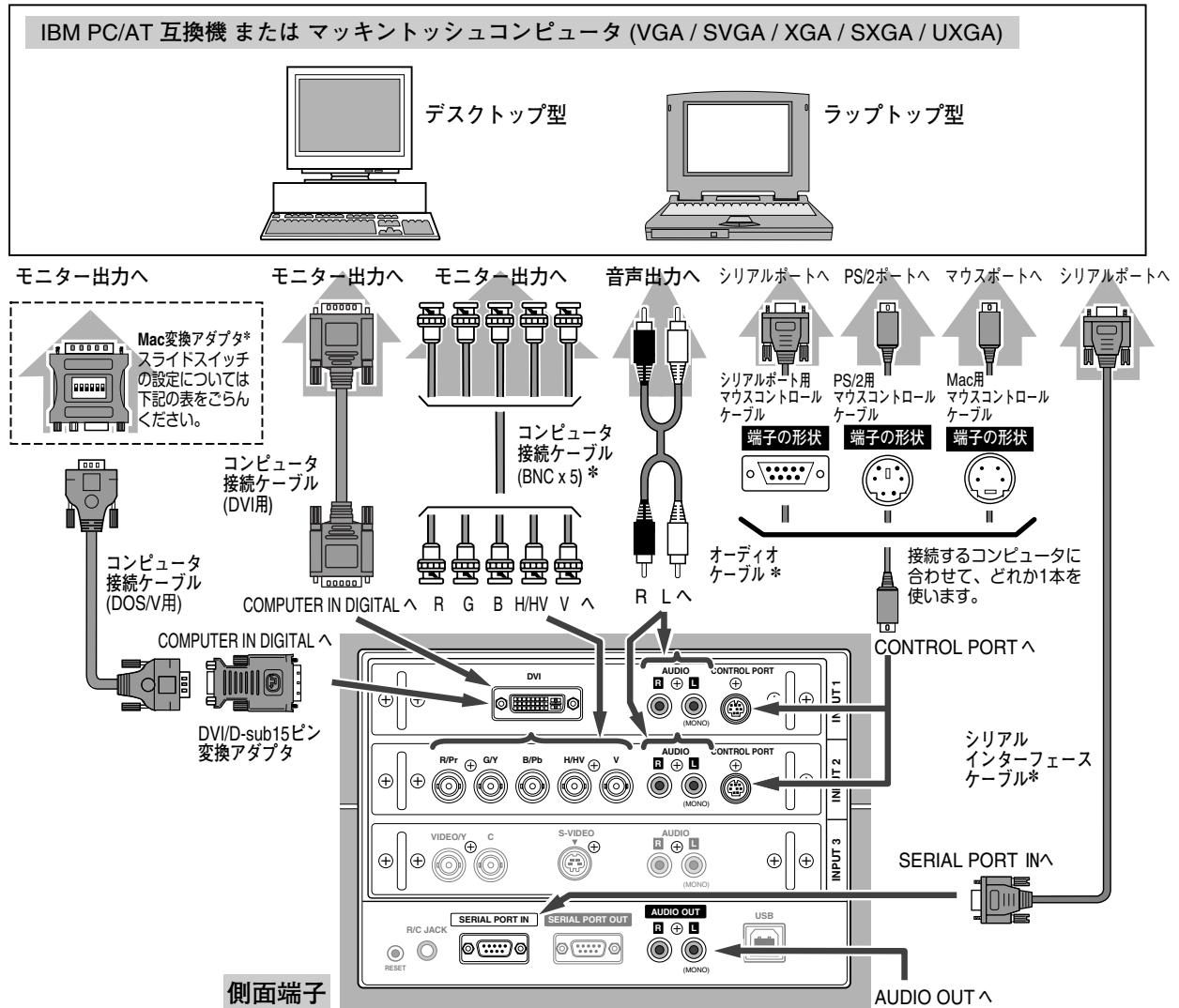
ビデオ入力端子および コンピュータ アナログ入力端子

DVDプレーヤーやHDTVなどからのコンポーネント映像出力 [Pb, Y, Pr]、または、コンピュータからのアナログ (RGB) 出力と接続します。(46、47 ページ参照)

コンピュータを接続する (例)

接続に使用するケーブル (* = 市販または別売のケーブルをお使いください。)

- コンピュータ接続ケーブル (DOS/V用、DVI用、BNC x5*)
- マウスコントロールケーブル: (PS/2用、シリアルポート用、Mac用)
- DVI/D-sub15ピン変換アダプタ
- Macアダプタ (マッキントッシュコンピュータ接続時)
- オーディオ ケーブル (2x ピンジャック *)
- シリアルインターフェース ケーブル *

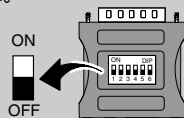


接続するときのご注意:

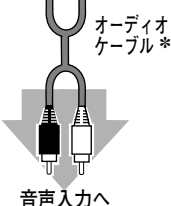
接続するときは、プロジェクタと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。はじめにプロジェクタと周辺機器の電源を入れてからコンピュータの電源を立ち上げてください。

※注: Mac変換アダプタについて

プロジェクタとコンピュータの電源を入れる前に、接続するマッキントッシュコンピュータのモードに合わせてアダプタのスライドスイッチ (1~6) を下表のように設定してください。



モード	スイッチ	1	2	3	4	5	6
13" MODE (640 x 480)		ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
16" MODE (832 x 624)		OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF
19" MODE (1024 x 768)		OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF
21" MODE (1152 x 870)		ON	ON	ON	ON	OFF	OFF



外部のオーディオ機器

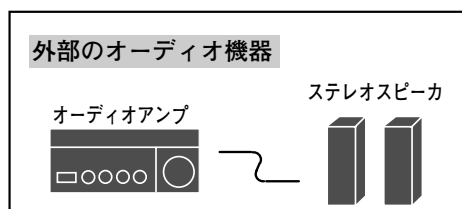
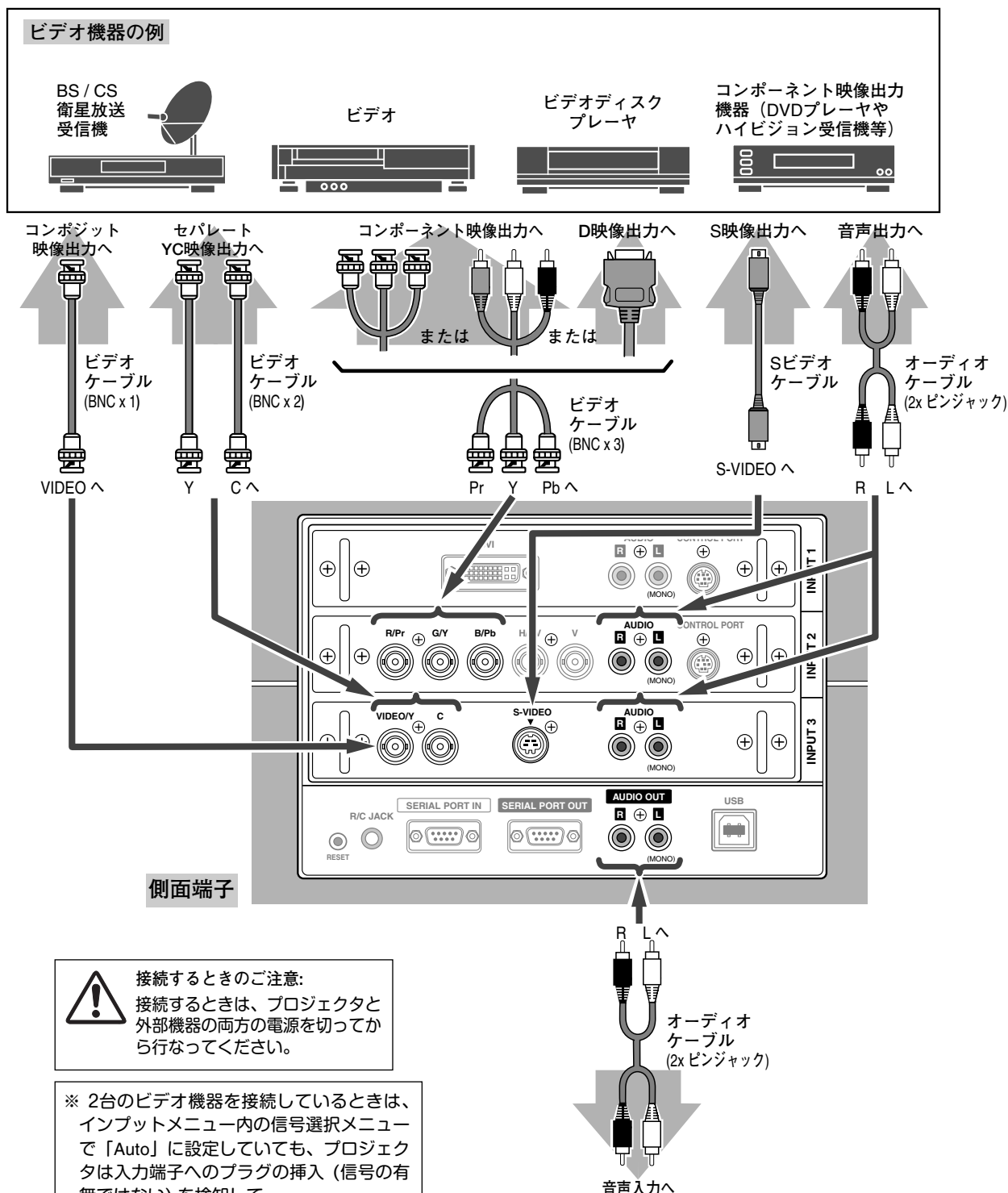
オーディオアンプ

ステレオスピーカ



ビデオ機器を接続する（例）

接続には市販のケーブルをお使いください。



リモコンでコンピュータを操作する

付属のリモコンはコンピュータのワイヤレスマウスとしてお使いいただけます。コンピュータマウスの代わりにリモコンでポインタを操作することができます。

準備をしてください

リモコンをワイヤレスマウスとして使用するには、マウスドライバが必要です。お使いのコンピュータにマウスドライバがインストールされていることを確認してください。

また、はじめにコンピュータの環境設定でマウスポート^{※注1}が、マウスコントロールケーブル（付属）を接続するポートに設定してあることを確認してください。

- 1 付属のマウスコントロールケーブルで、コンピュータのマウスポートと、プロジェクタの CONTROL PORT端子を接続します。^{※注2}（46ページを参照）
- 2 マウスコントロールケーブルを接続したら、はじめにプロジェクタの電源を入れてからコンピュータの電源を立ち上げてください。先にコンピュータの電源を立ち上げると正しく動作しない場合があります。

※注1：マウスポートは、コンピュータのマウスを接続する端子です。設定のしかたは、お使いになるコンピュータの説明書を参照してください。

※注2：一部のコンピュータでマウスポートのないものは、シリアル用マウスコントロールケーブルを使ってシリアルポートに接続します。

USB端子付きのコンピュータで USBマウスをお使いの場合は、市販のUSBケーブルでコンピュータとプロジェクタのUSB端子を接続します。

マウスポインタの動かし方

マウスポインタの操作は、リモコンの「ポイントボタン」「SELECTボタン」「右クリックボタン」で行ないます。

ポイントボタン

マウスポインタの移動を行ないます。ポイントボタンの上下左右方向を押すと、マウスポインタが移動します。

※ オンスクリーンメニューの画面が出ている間は、ポイントボタンはメニューのポインタの移動用になります。メニューを消すと、再びコンピュータのマウス操作ができるようになります。

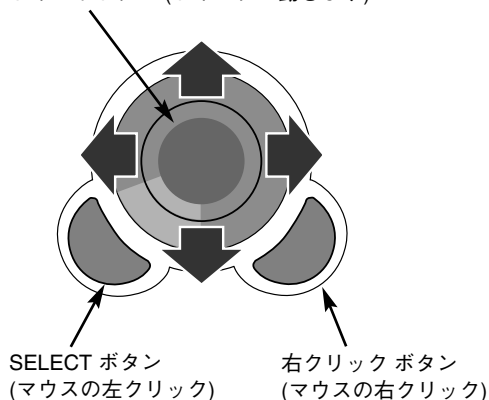
SELECT (左クリック) ボタン

コンピュータマウスの左クリックのはたらきをします。ドラッグするときは、SELECTボタンを押したままポイントボタンで移動させます。

右クリック ボタン

コンピュータマウスの右クリックのはたらきをします。

ポイントボタン (ポインタが動きます)



カードスロット式接続端子の交換

接続端子の入れ替え可能なカードスロット式接続端子により、端子カードの入れ替えで外部機器またはシステム組み込みに合わせてプロジェクタを使用することができます。

カードスロット式接続端子の交換のしかた

- 1 交換する接続端子のネジ2本を外します。(図1参照)
- 2 接続端子の両側のハンドルを持ち、接続端子をプロジェクタ本体から引き出します。(図1参照)
- 3 接続端子をガイドに沿って差し込みます。接続端子のソケットがプロジェクタ本体奥のプラグに正しく接続されるように、奥までしっかりと差し込んでください。(図2参照)
- 4 ネジ2本で接続端子を固定します。(図2参照)

※ 図は BNC x 5ピン接続端子を DVI 接続端子に交換する場合を示しています。

⚠ 注意

接続端子の取り外し、取り付けはプロジェクタの電源を切って行ってください。電源を入れたままで取り付け、取り外しを行うと、接続端子およびプロジェクタ破損の原因となります。

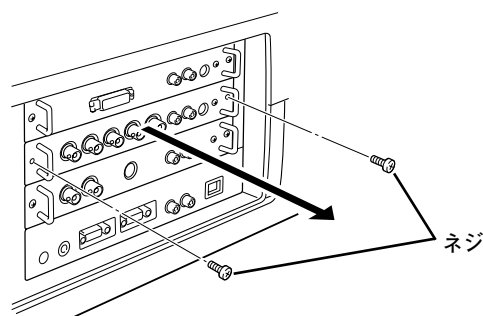


図1. 接続端子の外しかた

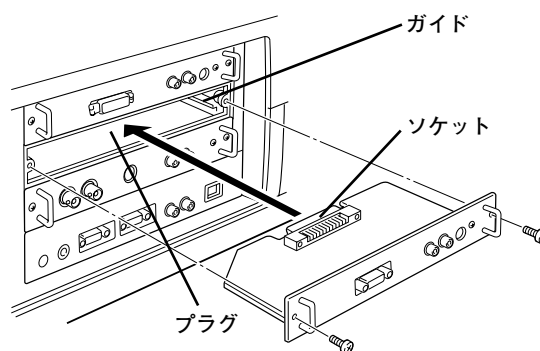


図2. 接続端子の取り付けかた

別売インターフェイスボード（接続端子）のご使用について

別売のインターフェイスボードをご使用になるときは、取扱販売店にご相談ください。取扱販売店にご相談頂くとき、プロジェクタのオプションコントロールナンバーもご連絡ください。

オプションコントロールナンバーは、操作メニューの中の言語選択表示の下部に表示されています。(右図参照)

※関連操作メニュー（42ページ）を参照ください。



オプションコントロールナンバー
Op. cont. No. 02
↑
このナンバーをご連絡ください。

光源ランプの交換

LAMP REPLACEインジケータの点灯

ランプが故障や寿命になると LAMP REPLACEインジケータ（黄）が点灯または点滅します。ランプステータス表示（18ページ参照）で該当ランプをご確認のうえ、ランプ交換を行なってください。LAMP REPLACEインジケータは、ランプを交換するまで電源「ON」（入）のときに点灯または点滅します。

光源ランプの交換のしかた

ランプ交換はランプハウスごとに行ないます。必ず指定のランプハウスを取り付けてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、つぎのことをお知らせください。

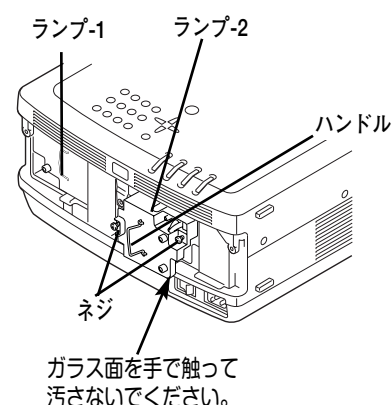
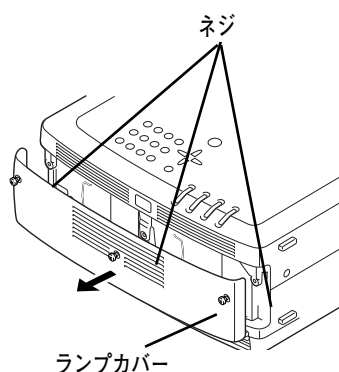
- ・交換ランプの品番：POA-LMP52（サービス部品コード：610 301 6047）
- ・プロジェクタの品番：LC-X5DL



注意

動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、45分以上冷却してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをする恐れがあります。

- 1 主電源を切り、電源コードを抜きます。必ず45分以上冷却してください。
- 2 (+)ドライバーで3本のネジをゆるめ、ランプカバーを外します。
- 3 交換を必要とするランプ番号表示のあるランプハウスの2本のネジをゆるめ、ハンドルを持ってランプハウスごと引き出します。
- 4 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、2本のネジを締めて固定します。
- 5 ランプカバーを取り付け、3本のネジを締めて固定します。



● ランプは2個同時に交換することをおすすめします ●

バランスのとれた明るさおよび色合いを保つため、ランプ交換をするときは、2個のランプを同時に交換することをおすすめします。

⚠ 注意

ランプの一方を取り外した状態でプロジェクタの電源を入れないでください。破損の原因となります。

ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると LAMP REPLACEインジケータ(黄)の点灯が消えます。

「ランプカウンターのリセット」のしかたは、44ページのランプカウンターリセットの設定を参照ください。

⚠ ランプについての安全上のご注意

プロジェクタの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（LAMP REPLACE インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。

⚠ ランプが破裂した場合

プロジェクタ内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行ってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクタ内部にガラス片が散乱している可能性があります。販売店または当社サービスステーションへプロジェクタ内部の清掃とランプの交換、プロジェクタ内部の点検をご依頼ください。

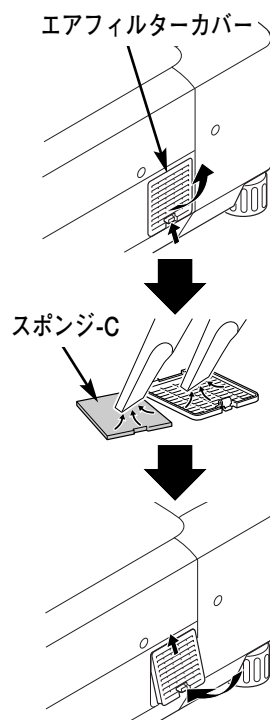
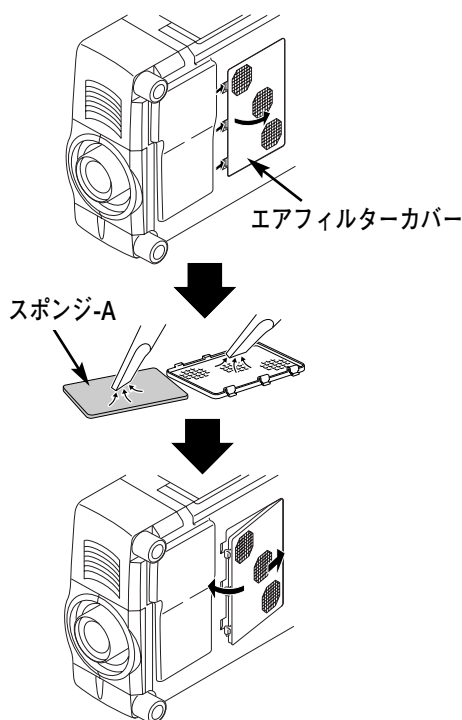
⚠ 使用済みランプの廃棄について

プロジェクタランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

エアフィルターの掃除

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまると空気の通りが悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障の原因になります。エアフィルターは、こまめに掃除してください。

- 1 プロジェクタの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。掃除は必ず電源を切ってから行なってください。
- 2 エアフィルターカバーのツメを引き、2箇所各エアフィルターカバーとスポンジを外します。(下図参照)
- 3 エアフィルターカバー、スポンジ、フィルター取り付け部周辺のホコリをブラシで取ります。
- 4 2箇所の各スポンジとエアフィルターカバーを取り付けます。(下図参照)



スポンジの汚れがひどいときは、水洗いの後よく乾かしてから取り付けてください。取り替え用スポンジ(別売)は、お買い上げの販売店にご相談ください。

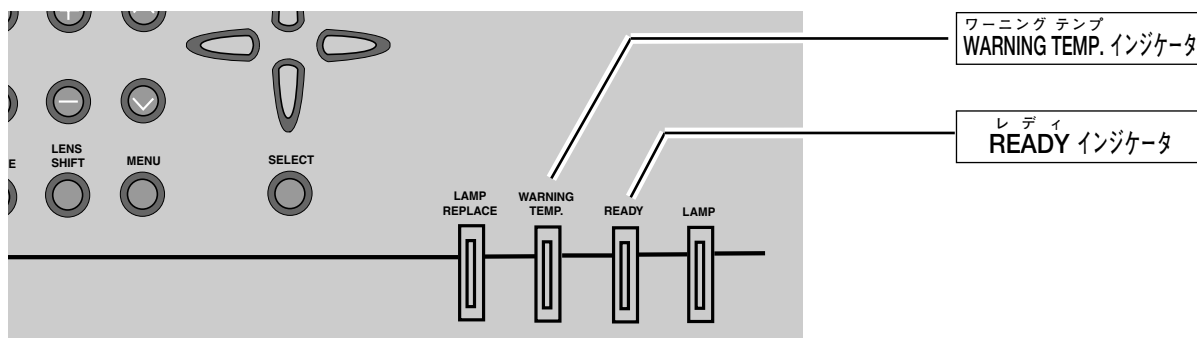
取り替え用 スポンジ-A の品番：AS-00X4A

取り替え用 スポンジ-C の品番：AS-00X4C

●お掃除の際にご注意ください●

- ・ エアフィルター部の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- ・ エアフィルターを取り外した状態でプロジェクタを使用しないでください。液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
- ・ エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり、破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。

内部の温度上昇について



本体インジケータ部

WARNING TEMP. インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると WARNING TEMP.インジケータ（赤）が点滅し、保護のために自動的に電源が切れ、READY インジケータも消えます。（WARNING TEMP.は点滅を続けます。）温度が下がると READY インジケータが点灯し、リモコンおよび本体の ON-OFF ボタンで電源を入れることができます。電源を入れると WARNING TEMP.の点滅が消えます。WARNING TEMP.インジケータの点滅が消えないときは、次のことを確認してください。

ここを確認してください

- ・ 底面のエアフィルターにホコリがたまっていますか。フィルターを掃除してください。
- ・ 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- ・ 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。（使用温度範囲：5℃～35℃）
- ・ 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

電源を入れるときは、READY インジケータが点灯していることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再び WARNING TEMP.インジケータが点滅して電源が切れます。

プロジェクタの電源が切れ、WARNING TEMP. と READY インジケータが点滅しているとき

プロジェクタ内部で異常が検出されると、プロジェクタの電源が切れ、WARNING TEMP.と READY インジケータが点滅を始めます。このとき、リモコンおよび本体の ON-OFF ボタンでの電源入り切りはできなくなります。このような時は、電源プラグをコンセントから抜き、プロジェクタの点検を取扱販売店、またはサービス会社にご依頼ください。電源コンセントを接続したまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

プロジェクタの電源を再び入れ、プロジェクタを点検するときは、本体の主電源スイッチを一旦切るか、または電源コードを一旦コンセントから抜いて電源を入れ直してください。

再び電源が切れ、WARNING TEMP. と READY インジケータが点滅する場合、内部の点検と修理が必要です。サービス会社へご依頼ください。

インジケータ表示とプロジェクトの状態

プロジェクトの各インジケータはプロジェクトの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しない等、動作が不明なときは、下表にしたがい各インジケータでプロジェクトの動作を確認してください。
また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクトをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行ってください。

インジケータの名称と点灯状態				プロジェクトの状態
LAMP REPLACE 黄	WARNING TEMP. 赤	READY 緑	LAMP 赤	
●	●	●	●	主電源スイッチ (MAINS SW)が「OFF」(切) になっています。 または電源コードがコンセントから抜けています。
※	●	○	○	プロジェクトはスタンバイ状態です。電源ボタンを押すと動作します。
※	●	○	●	プロジェクトは正常に動作しています。
※	○	●	○	プロジェクトの内部温度が高くなっています。電源は入りません。プロジェクトが冷却され、正常な温度になると、READY インジケータが点灯し、電源が入られます。 (WARNING TEMP.は点滅したままです。) エアフィルターの点検と掃除を行ってください。
※	○	○	○	内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。電源ボタンを押すと WARNING TEMP. の点滅は消え、プロジェクトが動作します。エアフィルターの点検と掃除を行ってください。
※	●	●	○	ランプの冷却中です。READY インジケータが点灯するまで、電源を入れることはできません。
※	○	○	○	プロジェクトの内部に異常が検出されました。電源ボタンを入れても電源は入りません。一度電源コードをコンセントから抜き、電源を入れ直してください。再び電源が切れ、インジケータが点灯するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理をサービス会社へご依頼ください。点灯したままで放置しないでください。火災や感電の原因となります。
※	●	○	●	パワーマネジメントモードになっています。プロジェクトを操作すると、ランプが点灯し、プロジェクトが動作をはじめます。

○ …点灯 ○ …点滅 ● …暗く点灯 ● …消灯

※・・・点灯または点滅するとランプの寿命です。(正常時は消灯) すみやかにランプを新しいものと交換してください。
ランプ交換後は、ランプカウンターをリセットしてください。(44ページ参照)

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、次のことをお確かめください。

こんなときは	ここを確認してください
電源が入らない	● 電源コードは接続されていますか。 ● 主電源スイッチ (MAINS SW) は「ON」(入) になっていますか。 ● ON-OFF ボタンを再度押してみてください。 ● READY インジケータ<緑>が消えているときは、ON-OFF ボタンを押しても電源が入りません。(22、27 ページ参照) ● WARNING TEMP. インジケータ<赤>が点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており、READY インジケータ<緑>が消えているときは、ON-OFF ボタンを押しても電源が入りません。温度が下がるまでお待ち下さい。 ● WARNING TEMP. インジケータ<赤>及びREADY インジケータ<緑>が点滅しているときは内部の故障が考えられます。(54 ページ参照)
画像が映らない	● コンピュータやビデオ機器は正しく接続されていますか。接続を確認してください。(45～47 ページ参照) ● 電源を入れたあと約30秒間はオープニング画面が出て、画像は映せません。(22ページ参照) ● レンズキャップをとりましたか。 ● コンピュータモードのときはコンピュータのシステムモードが、ビデオモードのときは信号の種類とカラーシステムや走査方式が合っていますか。(28、38 ページ参照) ● 使用温度範囲 (5℃～35℃) からはずれていませんか。 ● NO SHOW モードになっていませんか。NO SHOW ボタンを押してみてください。
音が出ない	● コンピュータやビデオ機器の音声は正しく接続されていますか。接続を確認してください。(45～47 ページ参照) ● 音量が最小になっていませんか。VOLUME + ボタンを押してみてください。 ● 消音状態になっていませんか。MUTE ボタンを押すか、VOLUME + ボタンを押してみてください。 ● サウンドメニューでスピーカの設定が「オフ」になっていませんか。(24ページ参照)
画像が不鮮明	● フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。(22ページ参照) ● スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。(別冊の「レンズ交換・取付作業手順書」参照) ● スクリーンに対して過度に斜めに投影しているときは、画面に台形ひずみ (あおり) ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。(13ページ参照) ● 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。 ● レンズシフト機能で画面位置を変えたときは、多少画面が暗くなることがあります。
リモコンで操作できない	● 電池は正しく入っていますか。+-を正しく入れてください。(14ページ参照) ● 電池がなくなっていないですか。新しい電池と交換してください。(14ページ参照) ● 電源コードは接続されていますか。接続を確認してください。(15ページ参照) ● 本体の主電源スイッチ (MAINS SW) は「ON」(入) になっていますか。主電源スイッチを入れてください。(22ページ参照) ● 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。 ● リモコンの受信範囲から、はずれていませんか。受信範囲で操作してください。(14ページ参照) ● リモコンの ALL OFF スイッチが、「ALL OFF」側になっていますか。「ON」側にして操作してください。(16ページ参照) ● リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコードを確認してください。(43ページ参照)
コンピュータのワイヤレスマウスとして動作しない	● マウスコントロールケーブルは正しく接続されていますか。(46ページ参照) ● 接続するコンピュータにマウスドライバがインストールされていますか。ワイヤレスマウスとして使うにはコンピュータにマウスドライバがインストールされている必要があります。(48ページ参照) ● 一旦電源を切り、プロジェクタの電源を先に入れてから、コンピュータを立ち上げてみてください。

仕 様

プロジェクタ本体

種 類	液晶プロジェクタ
表 示 方 式	液晶パネル 3枚 3原色光シャッター方式
液晶パネル	パネルサイズ：1.8型 表示方式：透過型TN液晶パネル 駆動方式：TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリクス方式 画素数：2,359,296画素 { 786,432 (横1,024 × 縦768) × 3 }
水平解像度	800 TV本
投影レンズ	別売
光源ランプ	高輝度 250W UHPランプ×2灯
ズーム調整	電動式 (電動式レンズの場合)
フォーカス調整	電動式 (電動式レンズの場合)
コンピュータ/ビデオ入力	●DVI入力 (1系統)：DVI-I コネクター デジタル：TMDS (Transition Minimized Differential Signaling) アナログRGB信号：0.7Vp-p、正極性、インピーダンス75Ω 水平・垂直同期：TTLレベル、負または正極性 (G信号中のコンポジット同期：0.3Vp-p、負極性インピーダンス75Ω) ●アナログRGB入力 (1系統)：BNC x 5ピン アナログRGB信号：0.7Vp-p、正極性、インピーダンス75Ω 水平・垂直同期：TTLレベル、負または正極性 (G信号中のコンポジット同期：0.3Vp-p、負極性インピーダンス75Ω) ●ビデオ入力 (2系統) Pr：BNC コネクター、0.7Vp-p、インピーダンス75Ω Y：BNC コネクター、1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω Pb：BNC コネクター、0.7Vp-p、インピーダンス75Ω S映像：セパレートYC信号、ミニDIN 4ピン Y：1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω C：0.286Vp-p (バースト信号)、インピーダンス75Ω 映像/Y：BNC コネクター、1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω C：BNC コネクター、0.286Vp-p (バースト信号)、インピーダンス75Ω ●音声入力 (3系統3端子)：ピンジャック (ステレオ) 142mVrms、インピーダンス47KΩ以上 (左モノ：右) ●音声モニター出力 (コンピュータ/ビデオ兼用)：ピンジャック (ステレオ)、 可変出力、インピーダンス1KΩ以下 (左モノ：右) ●コントロール ポート (2系統)：ミニDIN 8ピン ●USB端子：USBコネクター、シリーズ B、シングルポート ●シリアル ポート (入力1系統/出力1系統)：D-sub 9ピン x 2 ●ワイヤード リモコン端子：ミニジャック
制御入出力、他	
走査周波数	水平 15~120KHz、垂直 50~120Hz
カラーシステム	6システム (NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N)
音声実用最大出力	3W + 3W (EIAJ)
スピーカ	5×9cm 楕円形 2個
電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	720W (リモコンで電源を切ったとき 13W)
本体寸法	幅439×高さ230×奥行605.6 mm
質 量	21 Kg

リモコン

電 源 DC3.0V 単3型アルカリ乾電池 2本使用
到達距離 約5m (受信部正面)
本体寸法 幅5.5×高さ3.4×奥行19.2cm
質 量 165g (乾電池を含む)
レーザーポインタレーザー出力 . . . クラス2 レーザ製品
(IEC60825-1, Am.1 1997) 最大出力: 1 mW
波 長: 650±20 nm

付属品

- リモコン 1個
- リモコン用 アルカリ乾電池 (単3型) 2本
- リモコン接続コード 1本
- 電源コード 1本
- コンピュータ接続ケーブル 2本 (DVI用、DOS/V用)
- DVI/D-sub 変換アダプタ 1個
- Mac 変換アダプタ 1個
- マウス コントロール ケーブル 3本 (PS/2用、シリアル用、Mac 用)
- 取扱説明書
- レンズ交換・取付作業手順書
- 保証書
- 保証登録書(はがき)
- ダストカバー 1枚、
- 遮光プレート 3種、
- レンズ取付金具 2個
- 遮光プレート取付ベースキット 1セット

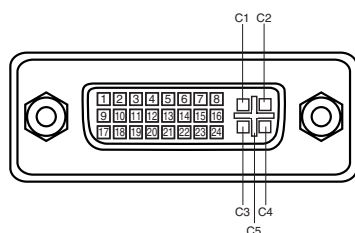
※このプロジェクトは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

端子の仕様

COMPUTER IN DIGITAL (コンピュータ デジタル入力端子)

コンピュータからのデジタル (TMDS) 出力とアナログ (RGB) 出力の両方が接続できる端子です。接続には、DVI用コンピュータ接続ケーブル (付属) をご使用ください。

DVI 29ピン



アナログ コンタクト部

C1	アナログ R ビデオ出力
C2	アナログ G ビデオ出力
C3	アナログ B ビデオ出力
C4	アナログ 水平同期
C5	アナログ RGB グランド

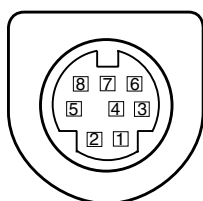
デジタル コンタクト部

1	T.M.D.S. データ 2-	9	T.M.D.S. データ 1-	17	T.M.D.S. データ 0-
2	T.M.D.S. データ 2+	10	T.M.D.S. データ 1+	18	T.M.D.S. データ 0+
3	T.M.D.S. データ 2 シールド	11	T.M.D.S. データ 1 シールド	19	T.M.D.S. データ 0 シールド
4	未接続	12	未接続	20	未接続
5	未接続	13	未接続	21	未接続
6	DDC クロック	14	+5V パワー	22	T.M.D.S. クロック シールド
7	DDC データ	15	接地 (+5V)	23	T.M.D.S. クロック+
8	アナログ 垂直同期	16	ホットプラグ検知	24	T.M.D.S. クロッカー

CONTROL PORT (コントロール ポート端子)

接続したコンピュータのマウス操作をプロジェクトのリモコンで行なうときに接続する端子です。この端子とコンピュータのマウスポート (PS/2ポート、シリアルポート、または マウスポート) を付属のマウスコントロールケーブルで接続します。

ミニ DIN 8ピン



	マウス コントロール ケーブル の種類		
	PS/2	シリアル	Mac
1	----	R x D	----
2	CLK	----	ADB
3	DATA	----	----
4	GND	GND	GND
5	----	RTS / CTS	----
6	----	T x D	----
7	GND	GND	----
8	----	GND	GND

SERIAL PORT IN / SERIAL PORT OUT (シリアルポート入出力端子)

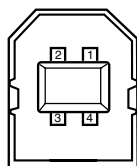
接続したコンピュータからプロジェクタの制御を行なうときに「SERIAL PORT IN」端子と、2台目以降のプロジェクタも同じコンピュータから制御を行なうときに2台目以降のプロジェクタへも同じ制御信号を出力するための「SERIAL PORT OUT」端子です。

D-sub 9ピン

1	—	6	—
2	R x D	7	—
3	T x D	8	—
4	—	9	—
5	GND		

USB (ユニバーサルシリアルバス端子)

USB規格対応の端子を持つコンピュータ機器との接続に使用する端子です。

USB コネクタ (シリーズ B)

1	VCC
2	- DATA
3	+ DATA
4	GND

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときのご注意

修理を依頼されるときはお買上の販売店に次のことをお知らせのうえ、修理をご依頼ください。

- ・ 品名、型名
- ・ 故障の症状
- ・ お名前、おところ

保証書について

保証期間はご購入日より1年間です。保証書の記載内容により修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

補修用性能部品について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

※補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

EIKI 映機工業株式会社

本	社	〒530-0028 大阪市北区万才町4番12号（浪速ビル）	☎ (06)6311-9475（代表）	
東	京	支 社	〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目8番21号 （虎ノ門33森ビル）	☎ (03)3432-3356（代表）
九	州	支 社	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1丁目11番15号 （博多駅東口ビル）	☎ (092)431-0222（代表）
工	場	〒664-0026 伊丹市寺本6丁目23番地	☎ (072)781-3861（代表）	